

平成25年度(2013年度)

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part 12 報告書



公益財団法人滋賀県国際協会

は じ め に

2020年に東京でのオリンピック開催が決定したことを受けて、多方面で新たな動きが見受けられるようになりました。

例えば、国土交通省や海外旅行者が多く訪れる自治体では、道路案内標識の英語表記化が着手されたり、今後予想される建設ラッシュに対応するために、総務省では建設業界へ海外からの労働者受け入れ拡大に向けた緩和策が検討され始めたり、また文部科学省では、グローバル化に対応した英語教育改革実施計画が発表され、児童生徒の英語による日本文化の発信、国際交流・ボランティア活動等の取り組みを強化することや、日本人としてのアイデンティティに関する教育の充実（伝統文化・歴史の重視等）を図るとしています。

そんな中、「グローバル人材」ということばをよく耳にするようになりましたが、皆さんのイメージにある「グローバル人材」とは、どんな人物像をイメージされますでしょうか。

確かに国際競争力を高めていくためには、語学、とりわけ英語力を強化することが必要であることは間違いなことだと思われます。しかしながら、言葉としての英語を習得するにとどまらず、世界の多様な文化や価値観を理解しながら、さらには自らのことを客観的にみる力、そして自分たちとは異なる多様なものの見方や考え方を受け入れられる力も同時に備えていく必要があると指摘する専門家もおられます。

そこで今年度の国際教育ワークショップでは、地球市民を育てるための全人的教育を目指しつつ、テーマ別英語学習を推進されている実践者を講師にお迎えし、これからの時代に望まれる国際理解教育の観点からの英語教育をご提案いただきました。

次世代の若者たちが、世界の多様な人々とともに協力しながら、同じ目的・目標に向かって活動したり、研究したり、問題解決のための行動を起こしていけるような人材として育つような教育が今後望まれるのではないのでしょうか。

今年度の国際教育に関する事業の報告をまとめました。みなさまの今後の国際教育の実践の一助となれば幸いです。

平成26年（2014年）3月
公益財団法人滋賀県国際協会

目 次

◇ はじめに	1
◇ 目 次	2

実績報告

◇ 国際教育ワークショップ	3
地球市民を地域とともに育てよう Part 12	
「英語教育で国際理解・開発教育をもっと身近に ～子どもの好奇心と行動力を引き出すテーマ別英語学習の提案～」	
講 師	町田 淳子 さん テーマ別英語教育研究会（ESTEEM）代表 BeLL works 主宰 新英語教育研究会
開催日	平成26年（2014年）1月11日（土）
会 場	ピアザ淡海207会議室
主 催	公益財団法人滋賀県国際協会
共 催	独立行政法人国際協力機構関西国際センター
協 力	国際教育研究会 Glocal net Shiga
◇ 国際教育教材体験フェア in 滋賀 Part 4	22
開催日	平成25年（2013年）5月11日（土）
会 場	ピアザ淡海203・204会議室
主 催	公益財団法人滋賀県国際協会
共 催	独立行政法人国際協力機構関西国際センター、国際教育研究会 Glocal net Shiga
◇ 海外経験を持つ方対象 伝え方講座	31
講 師	津田 かおり さん 青年海外協力隊OG
開催日	平成25年（2013年）11月9日（土）
会 場	ピアザ淡海206会議室
主 催	公益財団法人滋賀県国際協会
共 催	独立行政法人国際協力機構関西国際センター、国際教育研究会 Glocal net Shiga

資料集

◇ 滋賀県における国籍別外国人人口	39
◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga 活動報告	40
◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介	43

実績報告

国際教育ワークショップ 報告

地球市民を地域とともに育てよう Part 12
「英語教育で国際理解・開発教育をもっと身近に
～子どもの好奇心と行動力を引き出す
テーマ別英語学習の提案～」

国際教育教材体験フェアin 滋賀 Part4 報告

海外経験を持つ方対象 伝え方講座 報告

(公財) 滋賀県国際協会 平成25(2013)年度 国際教育ワークショップ
地球市民を地域とともに育てようpart12

英語教育で国際理解・開発教育をもっと身近に ～子どもの好奇心と行動力を引き出すテーマ別英語学習の提案～

日時：2014年1月11日(土)

会場：ピアザ淡海 207会議室

参加者数：28人

主催：滋賀県国際協会 共催：JICA関西 協力：国際教育研究会 Glocal net Shiga

■講師の紹介



まちだ じゅんこ
町田 淳子さん

テーマ別英語教育研究会(ESTEEM)代表
BeLL works 主宰 新英語教育研究会

民間団体 GITC (Globe International Teachers Circle) の研究スタッフとして 1993 年から団体が解散する 2004 年まで、様々なレベルに対応する独自の国際理解教育を目指したテーマ別英語教材を研究・開発し、自宅教室や各地の小学校の総合的学習の中で実践してきた。GITC 解散後 BeLL works (for Better Language Learning and to Be Lifelong Learners) を主宰しその活動を引き継いでいる。2006 年 6 月、小学校テーマ別英語教育研究会・ESTEEM (Elementary School Thematic English Education Movement) を立ち上げ、様々な立場から、英語教育に関わる人々とともに月例の学習会を重ねている。

午前の部 テーマ別英語学習とは

■導入

みなさん、おはようございます。私は神奈川県から来ました。母が京都出身なのですが、滋賀県に降り立ったのは初めてで、とても興奮しています。お声をかけてくださったJICAのみなさん、滋賀県国際協会の方々に礼申し上げます。ありがとうございます。

私は、英語教育は国際理解と開発教育を促進し高めていく上で大変相乗効果があると思っています。今日のワークショップで、それを感じていただきたいと思います。

「子どもの好奇心と行動力を引き出すテーマ別英語学習」を提案していきますが、「好奇心」と「行動力」という言葉は、国際理解・開発教育のキーワードでもあると思います。さて今、小学校の外国語学習の目標は「コミュニケーション能力を育む／異文化への気付き」ということに絞られています。公教育において外国語を学ぶということはそれだけが目的ではないはずで、そこを変えていきたいという思いがあります。今日は、皆さんのお考えも聞きながら、より良い方向を探していけたらいいなと思っています。

■自己紹介タイム

好奇心が湧くために絶対必要なものがあります。それは『五感』です。今日の皆さんの自己紹介ではぜひ五感を意識していただきたいと思います。それぞれに五感で感じた今朝の様子を思い出してみてください。そして、それを話題に自己紹介をしてください。

自己紹介タイム



ありがとうございました。いろいろなお話が出たことと思いますが、五感は本当に大切で、私は子どもにしっかり五感を使って学んで欲しいと思っています。開発教育や国際理解教育では、外国の子どものくらしなどに触れることが多いです。そのとき「あの食べ物はどんなにおいかな」とか「あれはどんな手触りだろう」と想像しようとする、そんな見方や感じ方、関心を持って学んで欲しいと思います。また私はいつも、子どもの心に、「生涯に渡って続く学びへの好奇心や豊かな感受性」と、「世界の人と心を通わせたいという願い」を育てる英語教育が出来たらいいなと思って活動しています。

■テーマ別英語学習の理念

(1) 何のために小学校で外国語活動（教育）をするのか

小学校教育の大きな目的は、子どもの人間性を育て、子どもが自信を持って生きていくためのいろんな可能性を引き出し、それを伸ばすための条件を整えてあげることだと私は思っています。小学校で英語教育が実践されるのであれば、その時間もそうした条件を満たさないといけないだろうと思っています。端的に言えば、全人的教育の実現に寄与するため、ということです。

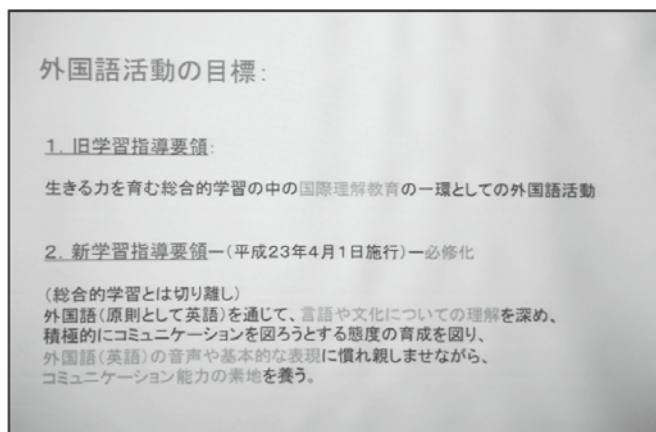
(2) 実際にそのような活動になっているだろうか

では、現実にはそういう活動になっているかということを見ていきましょう。実際には「Repeat after me.」と言って行わせるようなコミュニケーションスキルを重視した対話や、競争ゲームなどの活動が非常に多いように思います。実際には、高学年の知的好奇心のレベルに合っていない活動をしている場合が多いのです。ここで、先生を責めているわけではありません。先生方がそうせざるをえ

ないような現状を押し付けている教育行政が問題です。これには根本的な変革が求められますが、今、目の前の子どもたちのためにどうすればよいのかを考える必要があります。私は、開発教育や国際理解教育のテーマ別学習によって、こういった問題が解決できるのではないかと考えています。

(3) 外国語活動の目標はどうなっているか

旧学習指導要領では「国際理解教育の一環として外国語活動を行う」となっていました。ところが新学習指導要領では、総合的学習とは切り離し、国際理解教育の視点でいえば異文化理解という範囲に留められ、コミュニケーション力を高めるということに焦点が絞られました。これは、「『英語が使える日本人』の育成のための戦略構想」のもとに出てきたねらいです。



けれども、ユネスコは外国語教育とはこうあるべきだという勧告を出しています。

現代外国語教育はそれ自体が目的ではなく、その文化的および人間的側面によって、学習者の知性と人格を鍛え、よりよい国際理解と市民間の平和で友好的な協力・協働関係の樹立に貢献すべきである。

つまり、地球市民を育てる全人的教育でなくてはならない、ということです。私は外国語活動の時間も、こうした理念が実現できるような時間にしてほしいと思っています。

(4) 全人的な成長のために、どんな授業が求められているか

では、学習者が全人的に育つためにはどんな授業をしたらよいと思いますか。それを皆さんと一緒に考えてみたいと思います。グループに分かれて、思いついたことを書き出してみましょう。



グループワーク



では、どんなアイデアが出たか、お互いに紹介しましょう。

<グループ別発表：全人的な成長ができる授業とは>

<1 番目の発表>

- ・自分が認めてもらえる。認めてもらえるからこそ、自分の思いが出せる。
- ・思いを出すためにみんなで一緒に考えたり、自分で考える場面がある。
- ・子ども自身も、問いを持てる。
- ・新しい発見や気づきがある。
- ・話し合いの中で友達と考えが共有できて、相手の発見、人間的なつながりの発見がある。
- ・印象的な何かがないといけない。
- ・子どもたちが興味を持てるような提示の仕方の工夫が必要。
- ・今後の自分の人生に活かすというような、将来の得になるものがある。



<2 番目の発表>

- ・参加者とのつながりを感じられる、参加者と共感出来る。
- ・驚きがある。
- ・その場でいきいきできること。
- ・挑戦したいという気持ちが生まれる。
- ・外への広がりを感じることが出来る。
- ・新しい自分というのを発見できる。
- ・未知の世界が発見できる。
- ・そこで出会った人たちと、これからもつながりが持てることで、楽しいことを得たなという気持ちになる。



<3 番目の発表>

- ・友達とともに追究していくこと。
- ・議論しながら前に進んでいけること。
- ・違う考えや捉え方がある。知らなかったことがあるということ。
- ・体験がある。
- ・少し自分たちのレベルより高い課題があるとやる気が出るのでは。
- ・知らなかった世界を知れることで、疑問や興味が出てきて、そこから少しでも行動が出てくること。



< 4 番目の発表 >

- ・ やってみたいという気持ちがある。
- ・ やってみたい、もっと知りたいという意欲が持てる。
- ・ 自分で課題が見付けられる。
- ・ 体験的な活動があり、五感で感じながら出来る。



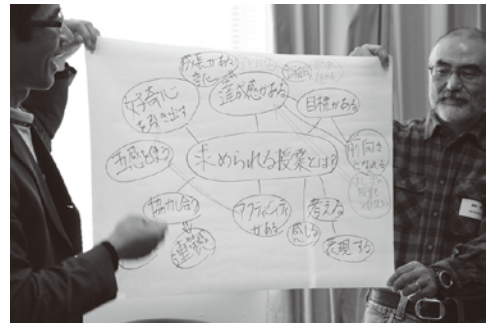
< 5 番目の発表 >

- ・ 全員参加で、みんなが発言する機会があり、自分が主役だと感じられる。
- ・ 出来た、分かった、という達成感を持てる。
- ・ 自己肯定、やる気がいように循環していく。
- ・ 先生側の立場としては、自分自身が面白いと思える授業でないと、それは伝わらないのではないか。



< 6 番目の発表 >

- ・ 具体的にこの授業に接して、具体的な目標が見えていること。
- ・ その目標を達成することで、自分が好きになれる、前向きになれる。
- ・ 次の授業も一丁がんばろうと思える。
- ・ 五感を使っているんな授業をやる。
- ・ 連帯感やグループへの所属感。
- ・ そのようなことが車の両輪のようにうまくかみ合うこと。



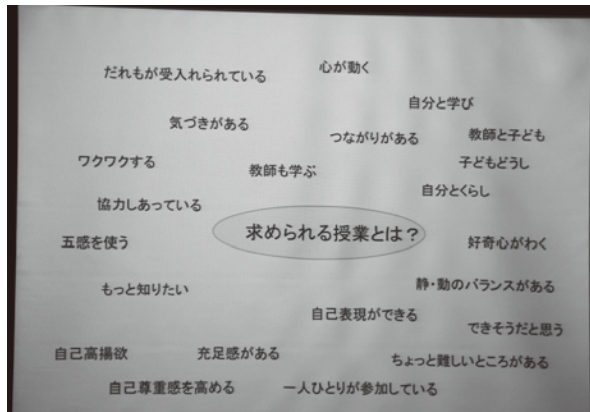
< 7 番目の発表 >

- ・ 子どもたちが主体で、楽しくて好奇心がわき、気付きがあり、調べたくて達成感を感じることが出来る。
- ・ 子どもたちの心の安心感を大切にする。
共感できたり、お互いが尊重できたり、失敗できる。
失敗しても大丈夫という安心感がある。
- ・ もう一度やりたいという気持ちになり、これを通して成長していく。
- ・ 教師の立場でいくと、そのような子どもたちの育ちを支えることが出来る教材を提供できること。



< 8 番目の発表 >

- ・ やっぱ、わくわく、ドキドキ感を大事にしたい。
- ・ 学校で学んだことが日常生活で使えるような工夫。
- ・ 役立ち感、日常生活、知りたい気持ちを大事にする。



国際理解教育や開発教育の内容には、このような学びを届ける要素が非常にたくさんあるのではありませんか？ JICAで海外に派遣された方の体験やJICAが持っている資料は本当によいリソースなので、外国語活動の素材として活用しない手はないと思います。

(5) そのような豊かな外国語活動を実現するには

このような豊かな授業を具体的に実現するには、国際理解教育の理念と内容を持ったテーマ性のある授業がとても役に立つことを実践から感じていますので、ぜひ提案したいと思います。では、どのようにテーマ性のある授業を作ると、皆さんが出してくださったようなことが実現できるかということこれから示していきたいと思います。

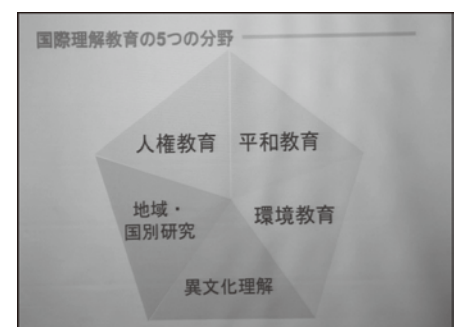
◎国際理解教育の定義

私たちが教材づくりのベースにしている国際理解教育の定義は、1970年代のイギリスのWorld Studies（ワールド・スタディーズ）という研究活動の中から生まれた定義にGlobe International Teachers Circle(GITC)が、自分自身の成長を高めるという内容を追加したものです。

多様な文化が存在し、人間も生き物も相互依存の関係で生きる世界で、地球市民としての責任を果たし、同時に自己の可能性を生かして、豊かな人生を送るのに必要な姿勢、知識、技能を育てる学びであり、教育である。

◎国際理解教育の分野

国際理解教育には「平和教育」「人権教育」「環境教育」「異文化間コミュニケーション」「地域・国別研究」の5つの分野があります。開発教育では、特に経済優先で開発を進めてきた結果出て来た様々な格差や環境汚染などの問題を扱いますが、それは全て国際理解教育の分野と結びついているものです。



◎学びのプロセス

国際理解教育の学びのプロセスは、

- ▼社会の現状を知る → 課題の解決を考える → 自分に出来ることを実行するという流れともう一つ、
- ▼自分を知る → 自分が育つ喜びを見つける(自己尊重感)→ 自己実現を目指す という二つのプロセスがあると言えます。

このような学びのプロセスを通して、子どもたちの中に共生の理念を芽生えさせ、行動力を培って引き出していくのが、国際理解教育です。私たちが作っている国際理解教育のためのテーマ別英語教育とは、そのプロセスに必然的に使える英語表現を導入して学んでいくというものです。

◎具体的なテーマ

これまで100近いテーマ別学習を作りましたが、そのうち廃番にしたり統合したものもあるので、現在は約70がリストアップされています。

例えば、「トイレットペーパー」というテーマ学習では、

This toilet paper is made from 100% virgin pulp, and this toilet paper is made from 100% recycle paper. (このトイレットペーパーは100%バージンパルプ製、このトイレットペーパーは100%再生紙製です)

Which would you use? (あなたはどちらを使いますか?)

という質問をします。必然性がある英語を環境教育の内容で学んでいこうということなんです。そうすると、子どもたちはその内容に引きつけられながら、覚えさせられるという意識なしに英語を吸収していきます。

◎学びのスタイル

国際理解教育が重視する学びには、①参加体験型 ②問題解決型 ③協力型学習 ④クリティカル・シンキング ⑤子どものマルチ能力を活かす活動 の5つのスタイルがあります。④のクリティカル・シンキングとは、多様な視点から物事を見つめ、自ら問いを立てたり分析したりするなどして、自分で情報を読み解く力をつけるような、またテーマに関連した先入観や偏見に気付かせるような活動をつくる、ということです。このような豊かな学びを取り入れますから、全人的な成長につながる事がわかります。

◎まとめ ～テーマ別英語学習の全体像～

アプローチ (WHY) は、なぜその教育をするかということですが、文科省の場合は、学習指導要領の外国語活動の目標の達成です。メソッド (WHAT) は、何を素材に何を教えるかということ。ここでは、Hi, friends!です。テクニック (HOW) はどのように実践するか。歌やゲーム、対話が中心で、これが文科省の英語活動の全体像です。私たちがGITC以来使っているアプローチは、

ESTEEMのカリキュラム・デザイン		
APPROACH	WHY	国際理解教育の実現
METHOD	WHAT	国際理解教育の視点をもったテーマ別英語学習
TECHNIQUES	HOW	ねらいを達成するための多様な活動 ＜ブレインストーミング／自己表現／問題解決／創作など＞

国際理解教育の実現です。メソッドは国際理解教育の視点を持ったテーマ別英語学習をする。テクニックは、そのねらいを達成するために上記の学びのスタイルに沿った様々な活動を入れていくということです。これが、私が提案したいテーマ別英語学習です。

では、それは実際にはどのように行うもの？ということで、午後からは、具体的に一つのテーマで、皆さんにじっくりテーマ別学習を体験していただこうと思います。



午後の部 テーマ別外国語活動 模擬授業体験

■「地雷」についての授業体験

Welcome you back! では始めましょう。皆さん、小学6年生になってください。英語の得意な人は帰国児童になったつもりで参加してください。

今日は皆さんに見せたい写真があります。

What happened to this boy?

(この少年に何が起こったのか?)

そう、正解は「地雷」です。

今日は、地雷を踏んでしまったこの男の子のことを、みんなで一緒に考えてみたいと思います。

「この写真に何が見えるかな?」「もっと知りたいことはない?」この2つの質問について、グループで話し合っ



グループワーク



←写真:佐藤賢二郎氏撮影 毎日新聞より

では、1つ目の質問から、グループごとに発表してください。次のグループは、前の発表で出なかった答えを発表してください。

< 1 番目の発表 >

- ・足がない。
- ・包帯が汚い。
- ・痩せている。裸足。
- ・下が土間。建物は板張りで粗末。
- ・ベッドはマット、シーツがなく不衛生。



< 2 番目の発表 >

- ・左足がない
- ・右足も怪我をしている。
- ・服が体よりも大きく感じる。
- ・暖かい地域。
- ・表情がない。
- ・悲しそうではない。



< 3 番目の発表 >

- ・横にも寝ている人がいる。
- ・寝ている人と同じような服装をしている。



< 4 番目の発表 >

- ・黒髪、肌も浅黒い。汚れた服。

< 5 番目の発表 >

- ・窓がない部屋。

見てわかったことの中に簡単な英語で言える言葉があります。

I see a boy. And I see a bed.

I see one more child.

というように、6年生が英語で言えるものを、英語で導入していきます。これが中学や高校であれば、もっとたくさん英語を使って表現が出来ます。

次に「もっと知りたいことは何ですか？」について話し合った結果を教えてください。

< 1 番目の発表 >

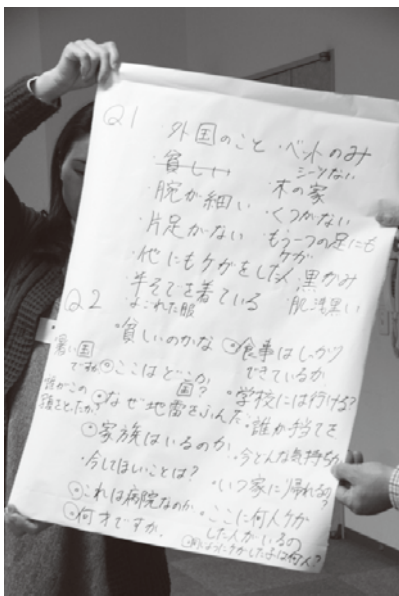
- ・ どの国の子か？
- ・ 場所は病院？
- ・ この子の家族について。
- ・ 年齢。
- ・ 地雷を踏んだときの状況。
- ・ 怪我したのはいつ頃か。
- ・ 他にどれくらいの子がこういう目に遭っているのか。
- ・ 食事や着るもの、生活はどうしているのか。

< 2 番目の発表 >

- ・ 病院か家か？
- ・ 家族の他にヘルプしてくれる人がいるのか？
- ・ 今何に困っている？

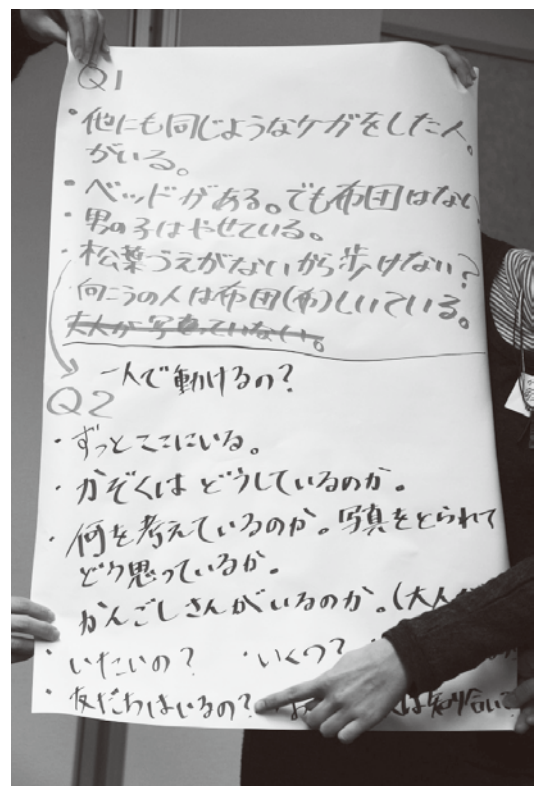
< 3 番目の発表 >

- ・ 貧しい暮らしか。
- ・ 学校には行っているのか。
- ・ 誰が手当をしてくれましたか。
- ・ 今どんな気持ちですか。
- ・ いつ家に帰れるのか。
- ・ 他に何人この部屋にいますか。
- ・ 今して欲しいことは何ですか。
- ・ 暑い国ですか。
- ・ 誰がこの写真を撮ったのですか。



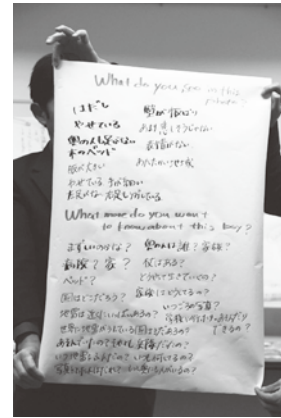
< 4 番目の発表 >

- ・ 友達はあるんですか。
- ・ 写真を撮られてどう思っているか。
- ・ 何を考えているのか。
- ・ 奥にいる人は知り合いなんですか。



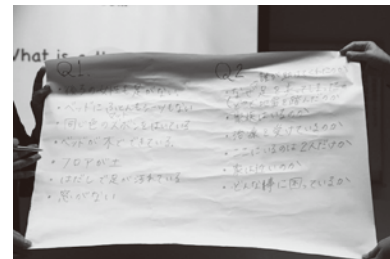
< 5 番目の発表 >

- ・これからどうして生きていくのか。
- ・杖はあるのか。
- ・座っているところはベッドか。
- ・地雷は近くにたくさんあるのか。
- ・世界に地雷が埋まっている国はまだあるのか。
- ・けがをしたのは遊んでいたときか、それとも兵隊だったのか。
- ・奥にもっと人がいるのか。



< 6 番目の発表 >

- ・どうやって歩いているのか。
- ・義足はこのあと作ってもらえるのか。
- ・お腹は今すいていますか。



このようにして、この子に関心を持ってもらう。いろいろ想像力を働かせるわけです。

実はこの写真は新聞記事から取りました。そのインタビューの記事からなら、皆さんの質問に答えることができます。答えられる質問を紹介しましょう。

< 英語による質問と答え >

- What is your name?** My name is ヤン チャイ. (私の名前は、ヤン チャイです。)
- How old are you?** I am twelve years old. As old as you. (12歳です。あなたと同じ年です。)
- Where are you from?** I'm from Cambodia. (私はカンボジア出身です。)
- What were you doing?** I was fighting with a gun. (私は銃で戦っていました。)

このやり取りで大切なのは、子どもに英語で質問ができるよう導入した後、その答えを伝える前に、子どもたちに答えを想像させる機会をもたせることです。

ではここで、この記事のポイントを読んでもみます。

< 記事の要約 >

ヤン チャイ君は身長130センチ、華奢な骨格、タイ国境に接するポスマン市のバナナ畑を偵察中に地雷を踏み、野戦病院で左足を切断された。

3歳で母が病死、継母からは虐待を受ける。小学校に通うことなく、10歳で家を飛び出し、食べるために入隊。少年兵は禁じられているはずだが、副司令官はその事実を認めていない。



もう戦うのは嫌だ。No more fighting. Please stop fighting. というのが、ヤン チャイ君のメッセージです。



このあと、地雷廃絶日本キャンペーン（JCBL）から模型を借りてきて、実際に手に取り、見てもらうという活動を行います。

←地雷廃絶日本キャンペーンから貸し出してもらった模型
（JCBLのHPから転載）

次に「地雷クイズ」を行い、地雷について曖昧だった知識や思い込みに気付いてもらいます。

<地雷クイズ>

教室の右と左に「YES」「NO」のコーナーを設け、答えだと思う方に移動して答える活動。分からない場合は、真ん中に移動する。



第1問 世界には、約1千万個の地雷が埋まっている。Yes or No？

（答え・解説）No. 約7千万個の地雷が埋まっている。

第2問 これ以上地雷を埋めないとしても、今埋まっている地雷を現在のやり方で全部取り除くには、約500年かかる。

（答え）No. 約1000年かかる。

第3問 アメリカ合衆国は主要な地雷製造国の一つである。

（答え・解説）Yes.

同時多発テロの後、米国が「テロとの闘い」を宣言、テロリストの攻撃のためと開戦したが、地雷には「サイレント・テロリスト」と呼ばれる別名がある。米国はそれを製造している。

第4問 日本は地雷を持っているでしょうか。

（答え・解説）Yes.

対人地雷全面禁止条約に署名して廃棄したが、地雷除去の研究用におよそ1万個を保持している。

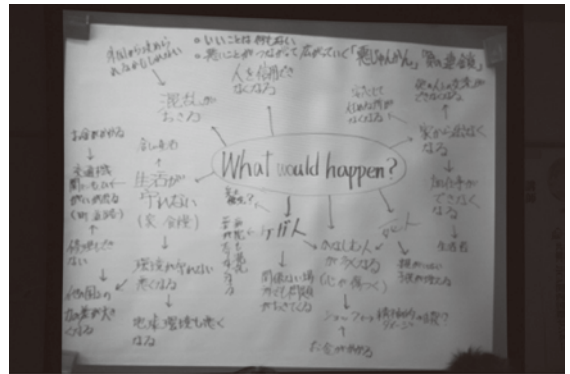
第5問 子どもが地雷や不発弾の被害に遭ったときにしていたことで、一番多いのは「畑で働いていたとき」である。

（答え・解説）No.

一番多いのは、手や足で遊んでいたとき。おもちゃがあまりない国なので、野原におもちゃになりそうなものが落ちていたら、それで遊ぶため。

<ウェビング～もしみんなの町に地雷があったら>

地雷の模型を見て知識を深めたあと、もっと想像を膨らませもらうため、「地雷がもしみんなの町にあったら、どうことが起きていくだろう」ということを、ウェビングで出していきます。その中で出てくるのは恐ろしい悪循環。実際に負の連鎖という言葉も子どもから出てきました。



<身近なことに置き換える>

ほんとうに地雷などを作ることはやめてほしい。では、皆さんの周りで「やめて欲しいことは何か?」ということを考え書いてもらいます。「いじめをやめて。Stop bullying.」のような、なかなかふだんの学校の中で言いにくいコメントも、英語だと言えるということがあります。また、身近なことほど記憶に残ります。そのように伝えたいことを通して言葉を覚えられたらいいなと思っています。

■「児童労働」についての授業体験

次に、希望が持てる学びへシフトして行きます。次の時間に、もう一人の男の子の写真を見せ、背景を紹介します（実際の授業では、ヤン チャイ君の時と同じように導入します）。

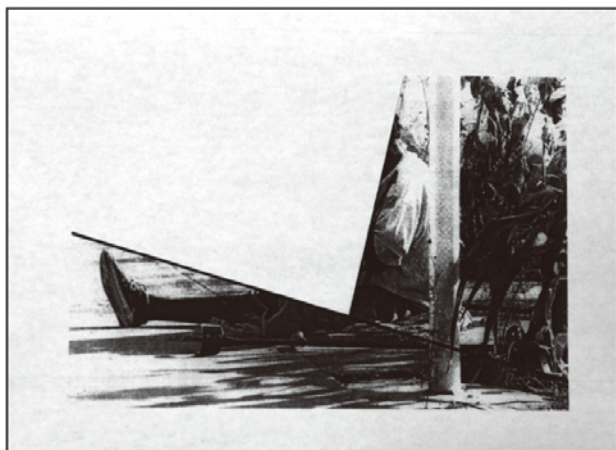
<文章の要約>

1995年のカナダ。12歳だったクレイグ キールバーガー君は新聞で児童労働に酷使されるパキスタンのイクバル君のことを知る。イクバル君は両親に売られて工場で働かされていたが、10歳のとき人権活動団体の助けで工場から脱出。学校で学び、団体の児童代表としてアジアや欧米諸国を周り、児童労働反対を訴えるようになった。しかし12歳のとき何者かに射殺された。クレイグ君はこの記事に強いショックを受け、クラスメイトと一緒に「フリー・ザ・チルドレン 子どもに自由を」というグループを作り、教会や学校で児童労働の過酷な実態を伝えた。このことが多くの共感を得て、たくさんの協力者が集まった。クレイグ君は各国の人権活動団体の協力を得て、世界30か国以上の国々を旅して訴えた。その後「フリー・ザ・チルドレン」は子どもによる子どものための国際的ネットワークとして広がり、20か国以上で活動している。クレイグ君は2003年に来日し、小さなことでもいいから行動してほしいと訴えた。

実践した際には、クレイグ君の呼びかけに応え、「自分で始められること、あるいはみんなで始められること」を書き出してもらいました。地雷で考えた Stop!に対して、Let's start! を考える訳です。殺されたイクバル君、地雷の被害にあったヤン チャイ君、そしてクレイグ君が、皆、この授業を受けている6年生の子どもと同じ12歳です。それで、この学びを「12歳のメッセージ」というタイトルのテーマ学習にして、最後に自分ができることを発表してもらい、終りにしました。



■「地雷」についての授業体験～別の視点から



さきほどの地雷の学びとつながりのあるテーマを、別の視点から取り上げてみたいと思います。今から配るプリントの写真は、一部が欠けています。グループのみなさんで話し合って、写真から分かる状況について考えを出し合ってください。そして、最後は各自で、欠けている部分の絵を描いてください。

グループワーク



絵を描く（個人作業）

ではここから、この空間を絵で埋めてください。この作業は皆さん個人でやってください。時間はみなさんの様子を見て決めます。どうぞ。



ではグループの中で、ちょっと回しながらアイデアを見せ合ってみてください。ぜひ、シェアしてください。

グループでシェア（分ち合い）

それでは、各グループで「これはクラス全体にぜひ聞いて欲しい」というようなユニークな考えがあれば、紹介していただけますか。

グループごとに発表

<グループ1>

- ・写真は女の人。
- ・赤ちゃんを抱いている。
- ・お母さんは子どもを見ている。



<グループ2>

- ・少しポジティブな形で、
 - ・何か楽器を吹いている
 - ・絵を描いている
 - ・漫画を読んでいる
- というアイデアが出ました。

<グループ3>

- ・物乞いをしている。
- ・片手もない。
- ・他にも物乞いをしている人がその並びにいる。



<グループ4>

- ・仕事をしている。
- ・休憩をして水を飲んでいる。
- ・監督が近くにいる。

<グループ6>

- ・ボールを持っている。
- ・物乞いで、箱を持っている。
- ・赤ちゃんを抱っこしている。

<グループ5>

- ・義足をはきなおしている。
- ・まだ兵士で、銃を持っている。



これが本当の写真です。とても幸せそうな親子です。つい私たちは、地雷に遭った人はかわいそうな人、というような目で見てしまうことがあると思いますが、私たちと同じような喜びをもって生活していることに気付いてほしいと思っています。



写真：「グローバル・クラスルーム」ディヴィッド・セルビー/グラハム・パイク著 明石書店より

■テーマ別英語教育をどのように創るか？

(1) 外国語と第二言語との違い

英語を学ぶ環境には、EFL(English as a Foreign language 外国語としての英語) とESL(English as a Second language 第2言語としての英語)があります。ESLの場合、英語教室で学んだことは、教室の外に出たらすぐ使えます。でも日本は外国語として英語を学ぶので、教室で習っても、それを外に出て使う場所がありません。だから、日常英会話という形で覚えても、なかなか身に付かないのです。

(2) テーマ別英語学習のつくり方

① テーマ設定

(子どもの興味・関心に沿って)

② ねらいと具体的な目標の設定

(そのテーマを通して、どのような姿勢・知識・技能を身につけてほしいのかを考えて)

③ 素材探し

(本物を活用して)

④ 活動案の設定・作成

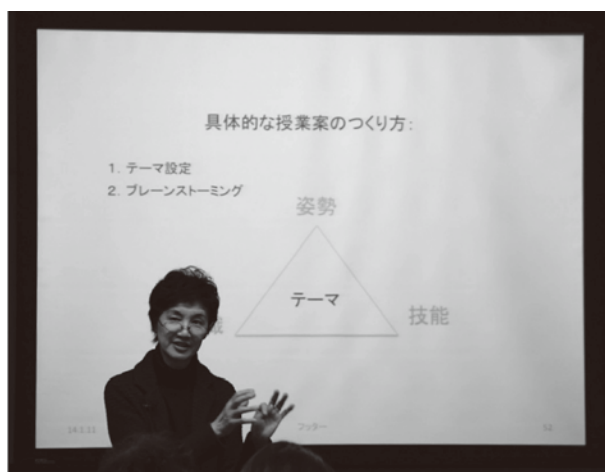
(先に述べた多様な学びのスタイルを取り入れて)

⑤ 導入する英語表現の設定

(必然性のある表現を)

⑥ 全体の流れを整える

このような流れで、教材を作っています。



＜子どもたちの感想から＞

「英語の勉強がこんなに楽しくて覚えやすかったのは初めてだった。」

「世界の事も英語もいろんな事を知りたいと思いました。自分の意見を英語で言えたらいいなと思いました。」

テーマ学習をすると、内容と英語の両方に関心が向いていることや、もっと知りたい、学びたいという気持ちが出ていることがわかります。

＜英語教育の先輩の言葉の紹介＞

「日本人は英語をどう学んできたか」（江利川春雄 著 研究社 P.50～P.51）から、「先輩たちの闘いから学ぼう」にある記述を紹介しました。ぜひ読んでいただきたい。

■小学校での実践報告

最後に、もう一つ別の環境教育の実践について、スライドを追って、みなさんにご紹介します。

これは5年生で実践しました。「**Living things** 生き物たち」、というテーマの授業です。

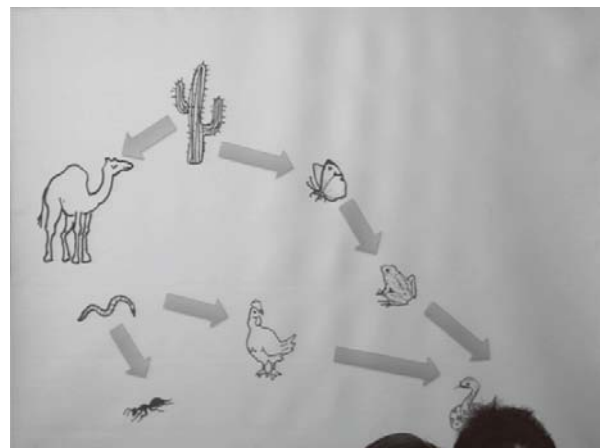
まず **LIVING THINGS** という英語が何を表しているか想像させた後、様々な生き物を導入します。



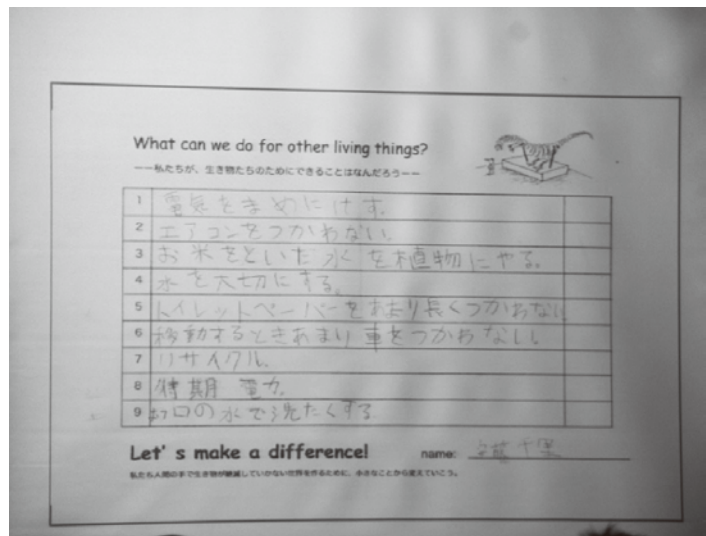
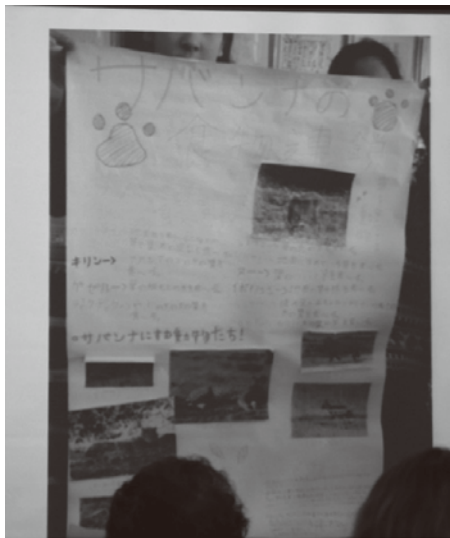
次に子どもたちの自由なアイデアで、この生き物たちをグループに分けていきます。棲息地、食べ物、動き方、足の数、自分たちとの関わりなど、いろいろな分け方が出てきます。そこで、分類の一つ、「**Where do they live?** どこで暮らしているか？」と問いかけて、生き物たちが生きている環境、砂漠／海／森林／サバンナ／湿地／都会など写真で紹介していきます。

次に、今見てきた場所は、全部、どこにあるの？とたずねます。そう、「**We all live on the earth together.** みんな地球で一緒に暮らしている」ということです。

今度は、「**Who eat what?** 誰が何を食べているか」ということを考えていきます。わかった子どもが生き物の絵カードを持って前に出て、例えば、**Frogs eat butterflies.** などと発見したことをカードで示しながら英語で表現できます。それを黒板の上で、線でつないでいきます。こうして、食物連鎖**Food chain**ができることに気付いていきます。

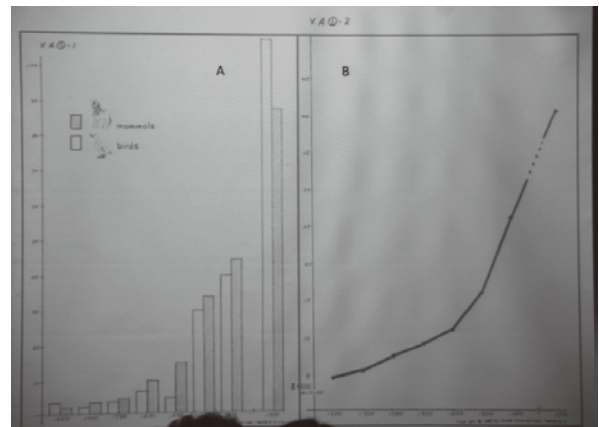


次に、砂漠や海ではどんな食物連鎖が起きているのか、ということグループで調べ、ポスターを作ってもらいました。そして、各グループに発表してもらいました。



また他にも、私たちが生き物から、どのような恩恵を得ているかも考え、ビンゴシートに書くといった活動も行います。

最後に、人口増加と絶滅する動物に関する2つのグラフを見せて、私たちの人口が増えるに従って、絶滅している動物も増えているということに気付いてもらいます。そして、子どもたちに「私たちは生き物たちのために何ができるのかな？」と考えて、アイデアを書き出してもらいました。



■まとめ

<国際理解教育のテーマ別英語教育がもたらすもの>

「多様な視点」「テーマについてもっと知りたいという知的好奇心」「子どものマルチ能力を活かし、引き出す力」「自己尊重感」「協働する姿勢」「意味のある英語表現」など、テーマ別英語教育がもたらすものについて、振り返り確認しました。

<受講者の質問>

【質問】

Q. テーマ別学習を学習指導要領の範囲内でしているのか。「読み書き」を「聞く、話す」と同時に教えなくてもよいのか。

A. テーマ学習では、子どもの興味、関心に沿った英語表現を使って、生きる力につながる内容について学んでいるので、学習指導要領の求めているものに沿っていると言えます。全然問題ないと私は思います。

「読み書き」についてですが、実際には、ローマ字を学ぶ時間が少なく、身に付かないままになっているのもったいない。ローマ字を導入するときに、もう少し時間をとって、アルファベットの文字としての扱いも教えるとよいのではと思います。そこでローマ字の読み方とアルファベットの読み方の違いに気付いてもらうという方法があるので、導入できるとよいのですが。実際、書きたがる子どもはたくさんいます。学びたがっているときは教えるチャンスですから、活かしたいです。読むことについては、私たちは、ルールを教えるのではなく、音素の聞き取りの力をつけていくということをしています。例えば「lemon」「red」（五感のテーマ学習の中で使われる単語ですが）と言って、最初の音が同じか、違うかを聞き分けるクイズをします。そして、聞いた音がどの文字か想像して書いてみる、というように、結びつけて学べるといいですね。

【質問】

Q. おすすめの本があれば教えてください。

A. 「テーマで学ぶ英語活動」。先生用の授業案と、ワークシートなどが入っています。子どもたち用には「Your World」。英語テキストと国際理解教育のテキストがセットになっていて、同じ8つのテーマで出来ています。

【質問】

Q. 私は「言葉への気付き」に興味があり、英語活動に取り入れたいと思っている。どのようなことができるか、ヒントをください。

A. テーマ別学習の中でもいろいろな英語表現を使いますから、言葉への気付きを促す機会はたくさんあると思います。例えば「水」であれば、ジェスチャーやフレーズで間を入れながら、「**I use water / to wash my hands / to wash my face / to wash dishes.**」という言葉のつながり方や意味のかたまりを大事にして、新しい表現を導入することを心がけます。そうすることで、言葉ってこういうふうにつながっているんだな、こういうふう置き換えればいいんだなということに気付けるのではないかと私は思っています。テーマ学習の中でも、ただ内容につながる英語表現を導入すればよいというのではなく、文の構成や言葉のルールなどをこちらが意識した上で（教え込むのではなく）子どもたちに言葉に出会わせていくということを忘れなければ、子どもは言葉のもつ特徴に気付き、関心をもってくれるのではないかと私は思っています。

2013年度「国際教育教材体験フェア in 滋賀 Part 4」

日時：2013年5月11日(土) 13:00～16:45 会場：ピアザ淡海
参加者数：60人
主催：滋賀県国際協会 共催：JICA関西、国際教育研究会 Glocal net Shiga

第1分科会：「権利の宝箱～子どもの幸せのために大切なもの～」

■講師：渡辺智美さん（国際教育研究会 Glocal net Shiga） ■参加者：31名

1) 自己紹介+アイスブレイキング（10分）

仲間（共通点）を見つけてグループの人数を増やすゲーム：2～3人グループになり、共通点を見つける。次は4人以上、次は6人以上との共通点を見つけグループをどんどん大きくしていく。最後には、参加者全員が「今日笑った人」で共通点を見出し、大きな輪となった。

2) ワークショップ「権利の宝箱」（25分）

① 子どもにとって「大切なもの・必要なもの」を3つ頭の中で考える。

② 3人1組で、中身の見えない袋の中に入っている物が何か当てる。

③ 袋から出てきた物が、子どもにとってどう「大切なもの・必要なもの」なのか想像できることを言う。

例) 蛇口→安全な水・水を使う権利

サッカーボール→夢・遊び・チームワーク、
家(※)→住むところ・安全・家族・帰るところ
寝るところ

※「家」に関するイメージは、クラスの子どもたち全員にとって必ずしも「安全」ではないかもしれない。そのため、「安全ではないと感じる人もいる」ということを同時に伝える。

薬→健康・医療

④ 最後に先生が大切だと思う1つの物（宝箱の底に取り付けられている鏡）を1人1人に見せていく。

「自分」が一番大切なのだと気づいてもらう。

【意見】

- ・ 日本には物があふれている。
- ・ アイデンティティを確立していく要素が関わり合っている様子を表しているワーク。
- ・ 大切なものや守られているものがいっぱいあるのだと気づいた。
- ・ 鏡を見せられたとき、参加者は全員笑顔になった。



3) ワークショップ「ストリート・チルドレン100人の子どもたち

(教材：シャプラニール＝市民による海外協力の会 発行)」 (40分)

- ① 教室の中心に、バングラデシュの首都ダッカの路上で生きるストリート・チルドレンの情報が書かれたカードを置く（名前・年齢・顔写真・仕事・うれしかったこと悲しかったこと）。
- ② 参加者は気になった子どものカードを1枚ピックアップする。
- ③ 3人1組になり、なぜその子どものカードを選んだのか理由を共有する。



【意見】

- ・ 自分とのギャップに驚いた。
 - ・ 学校に行くのは当たり前なのに「学校に行くのが夢」と語っていた。
 - ・ 取材に対し「ノーコメント」だった子ども。笑顔を知らないのかもしれない。
- ④ 5人1組になり、このストリート・チルドレンが「生きている実感」が持てるのはどんな時なのか意見交換する。



【意見】

- ・ 朝起きて「今日も仕事に行こう」と決断した時。
 - ・ お母さんの手料理を食べている時。
 - ・ 家族、友だち、動物たちと支えあって生きている時。
 - ・ 仲間と遊んでいる時。
- ⑤ 子どもの権利条約が書かれたカードを配り、カードに書かれている「権利」がこのストリート・チルドレンに対して「守られているか」「守られていないか」「どちらかわからない」かに分ける。



4) まとめ

- ・ 自分には何ができるのか。すぐにはわからないけれど、考えていきたい。
- ・ 条約は存在しているだけではだめ。実行していかなければ。
- ・ 子どもたちは、自分たちが権利を持っていることすら知らないのではないか。
- ・ 結局、何もできない。悔しい。
- ・ このワークだけだとバングラデシュが悪い国だと思ってしまう。良い面も伝えなければ。
- ・ 外国の話だけではなく、国内（自分たちの身近にいる子どもたち）にも当てはまることがある。
- ・ 人は尊厳を持って生きており、それを尊重していくべき。そのような国際協力をしていくことが大切。
- ・ 自分が誰かに愛されていて、大切な存在であると認識しているからこそ他人を大切にできる。

分科会2：「カンボジアから自分を知る～大切なものを守りつづけるために～」

■講師：伴英孝さん（東近江市立玉緒小学校教諭）

■参加者：22名

1) JICA教師海外研修の概要説明・講師紹介（5分）

（JICA関西国際協力推進員 大阪市担当 中西さんより）

- ・ JICA開発教育支援事業の説明
- ・ 2012年の教師海外カンボジア研修の様子について写真を交えて報告

2) 自己紹介+アイスブレイキング（10分）

自己紹介ビンゴゲーム

マスの中にそれぞれ自分の答えを書き、自分と違う答えの人を探すゲーム。初めての人と話しながら、考え方が違う人と出会う人を探す。

その後、変わった答え、驚いた答えについて発表する。
意見例）平和ってどんなこと？ → たいくつできること

自己紹介(ビンゴゲーム)		
○1～9について思いつくことを書いてください。 ○自己紹介をして、1～9の番号から自分と違う答えを持っている人の名前を()に書き入れてください。 ○ビンゴめざそう。だて・よこ・ななめ、いくつビンゴができるかな		
1 学校に行くメリットは？	2 平和ってどんなこと？	3 毎朝何に食っているの？
()	()	()
4 日本の商品で持ってるものって？	5 何歳までが子どもだと思う？	6 学校で楽しい授業は？
()	()	()
7 毎日使ってるってどれくらい？	8 電気が使えないと何に困る？	9 静寂ってあなたにとって？
()	()	()

3) カンボジアってどんな国！（グループワーク）（25分）

① カンボジアと聞いて思いつくことは？

（ブレインストーミング）

A) ブレインストーミングの練習として「家がないと困るもの」を2分間でできるだけ多く挙げる。

グループごとに挙げた数を競い、何でもいからとにかくたくさん数を出すのが大事だということを確認。

B) 「カンボジアと聞いて思いつくこと」についてブレインストーミング

② カンボジアの絵からわかること

各グループで話し合いながらカンボジアの子どもたちが描いた絵に題名をつけてみるワーク。各グループそれぞれ、その題名をつけた理由を説明しながら発表。

「あなたの大切なものはなんですか？」の本の紹介と併せて、カンボジア文化理解。

『カンボジアでは「仏」「国」が大事だ』ということ
は、日本人にはあまりない感覚。



4) あなたの大切なものは何ですかⅠ（グループワーク）（15分）

- ・自分が大切だと思うものについて絵を描き、グループの中で伝え合う。グループから一人ずつ発表。
- 意見例)家族、つながり、心、ペット、人との出会い、日常、目には見えないもの 等
- ・実践授業で出た6年生の作品紹介。

5) カンボジアってどんな国Ⅱ（グループワーク）（20分）

① 「モノ」を通して見えること（モノランゲージ）

各グループに与えられたそれぞれのモノを見て、それが何に使うものかグループで話し合ってから発表。染め物、孤児院の子どもが作ったもの、布の使い方の多様性など、モノを通じたカンボジア理解。

② 「写真」を通して見えること（フォトランゲージ）

バラバラの写真ピースを組み合わせる活動を通じて席替え、そしてその写真から読み取れることを発表。地雷やポルポト政権についてなど、写真を通じたカンボジア理解。



6) 実践授業について～どう伝えるか？～（5分）

教師の感動を伝えることは、子ども自身の感動ではない。子どもたちに興味を持たせてから学習を進めることが大切。

- ・モノランゲージやフォトランゲージなどの手法を使うこと
- ・震災時に日本のために祈ってくれている人の存在を知ること
- ・日本人が行なうカンボジアでの活動についての調べ学習

7) あなたの大切なものは何ですかⅡ（5分）

ウッドポー小学校のVTRから

- ・自分の大切なものについての発表
- ・歓迎の歌を日本語で歌ってくれたこと

8) まとめ（5分）

「あなたにできること（大切なものを10年、もっと先まで守るため）」のレジュメを使ったまとめ。

授業が子どもたちの心に残り、これからもカンボジアのことを気にかけて続けてもらえるように、自分にできることを考え、それをまとめることの大切さについて話されました。

第3分科会：「写真で学ぼう 世界の暮らし ～地球の食卓から～」

■講師：大槻一彦さん（国際教育研究会 Glocal net Shiga）

■参加者：30名

1) アイスブレイキング（10分）

7種類の料理写真が5つの切れ端になっており、参加者は写真の切れ端を1つ選び、自分の選んだ写真を手掛かりに、同じ写真の切れ端を持つ仲間を見つけ出すゲーム。

写真が細かく切られており、すぐに仲間を見つけ出すグループがある一方で、なかなかメンバーを見つけ出すことができないグループもあったが、「カットされたトマトの端が写っている人」など声掛けをしながら、参加者はメンバーを探していった。

2) ワークショップ「地球の食卓（教材：NPO法人 開発教育協会 発行）」

「地球の食卓」は、世界24か国30家族の家族全員と一週間分の食材が映っている写真を活用し、10の学習プランを提案している教材であり、今回はその一部の学習方法を紹介。

① フォトランゲージ「ホームステイに行こう」（45分）

A) 自分の国の文化について語り合う

参加者はA～Gまでの7つの国（グループ）に分かれ、各国の机に置かれた家族と一週間分の食材の映っている写真を見て、家族や食材などについて、グループで話し合う。

B) ホームステイに出かける

参加者は、それぞれが別の国に一週間のホームステイへ出かける。ホームステイ先で感じたことや気づいたことなどをホームステイに訪れた参加者同士で話し合う。

C) ホームステイでの体験を自分の国で語り合う

ホームステイから帰国した参加者は、それぞれのホームステイ先でおいしかったものや発見したこと、珍しいもの、びっくりしたこと、困ったことなどを語り合い、自分の国について再度考えるとともに、他の国について学んだ。



【意見】

・私たちの島はとても寒く、高地で育つ野菜が多いが、ホームステイ先では、肉ばかりであったので、太ってしまった。

・ホームステイ先には、電子レンジや冷蔵庫があり、食材もファーストフード等あまり調理をする必要がないものが多く、驚いた。

- ・自分の家族に比べ、ホームステイ先では、家族の人数に比べ、食材が少なく、とても貧しい家だった。
- ・男性は民族衣装を着ているが、家主だけYシャツを着て、高級そうな時計をつけていた。
- ・味付けも濃く、すぐに飽きてしまい、自分の国に帰りたくなった。
- ・自分の国とは違い、食材に書かれた文字が、英語の他に中国語のような文字が書かれていた。

D) それぞれの国を知る

講師がA～Gまで7つの国に加え、日本の家族と食材の写真を参加者全員に解説。

主食がお米の国や豆類の国、保存食が多い国、お手伝いさんがいる国、ハンバーガーやピザなどファーストフードばかりが並べられているが、実は健康に気を使い、ジムに通っている家族など、写真から読みとれる情報に加え、写真の撮影者のコメントを紹介した。

② ランキング（順位づけ）（15分）

5枚の写真を見て、グループごとにランキングを行っていくワークショップ。

参加者は、グループごとにテーマを決め、写真のランキングを行った。

〈各グループのテーマ〉

- ・ゴミが多く出される順
- ・環境にやさしい順
- ・栄養バランスが良い順
- ・カロリー摂取量が多い順
- ・食費が高い順
- ・家族の笑顔が多い順



【意見】

- ・肉が多い国や加工品・お菓子が多い国、家族の人数に対して食材が少ない国などがあった。
- ・食材が揃っていても、笑顔が少ない国があった。
- ・家族の人数に対する食材の量で比較した。

③ 「いただきます」は何に？誰に？なんのために？（20分）

世界の国では、食事の前にあいさつをする国は少ないが、日本で食事の前に「いただきます」とあいさつするのは、何に？誰に？なんのために？するのか、参加者全員で考えた。

【意見】

- ・食べ物1つ1つに対する感謝を表す。
- ・食材そのものや食材を運んでくれた人、食材を作ってくれた人、調理をしてくれた人など、料理が出来上がるまでに関わった全て人への感謝を表す。
- ・時代劇では、「いただきます」というあいさつは出てこない。感謝の気持ちを忘れた頃から食事を食べる前にあいさつをするようになったのではないかな。



第4分科会：「みんなちがってみんないい ～多文化共生120時間の実践の軌跡～」

■講師：幸田隆さん（豊田市立若林東小学校教諭）

■参加者：27名

1) 幸田先生自己紹介（5分）

- ◆ 教員になられる以前には人材研修を行う会社にて勤務。
- ◆ 現在の勤務校の前に勤めておられた豊田市立西保見小学校での国際理解教育の実践を紹介。
- ◆ 2011年度JICA教師海外研修ブラジルコース参加。
- ◆ 2012年度JICAグローバル教育コンクール「国際協力レポート」部門JICA理事長賞受賞。

2) 国際理解教育 プロジェクトビデオ「みんなちがってみんないい」（30分）

豊田市立西保見小学校は全校生徒の約60%を外国籍児童（ブラジル、ペルー、フィリピン等）が占める非常に多国籍な学校。異なる文化や習慣の下に育ってきたそれぞれの児童は当初、外見や言葉、性格の違いなどからお互いに対する理解が不十分で反発し合うことが多かった。

例えば日本人児童は、ブラジル人はいつもブラジル人同士ポルトガル語で話している、とか授業中におしゃべりをしたり給食準備を手伝わなかったり、ルールや約束を無視してわがままで、と感じていた。その反面、ブラジル人児童は、日本人は早口で話すから会話に入れない、とか、がんばって日本語で話しても「もういい」と相手にされなかったという経験から、日本人は優しくないとか日本人だけで内緒話をしている、などと感じていた。

このように児童らは当初、お互いに違う部分を変だとか嫌だとネガティブに捉えていた。そこで幸田先生は児童らに違うことはおもしろいことだとポジティブに捉えられるようにリードし、つながりを意識した継続的な国際理解教育の取り組みを行うことで、友情や協力関係を強めていった。そうした児童の変化を学級の授業風景や生徒らのコメントをもとにして、生徒らの自作自演によって制作されたオリジナルビデオ「みんなちがってみんないい」を鑑賞。

3) アクティビティー Birthday Line（15分）

参加者が言葉を使わずに、誕生日の順に一つの輪を作ることによって西保見小学校6年1組の状況を疑似体験してみる。

このアクティビティーを通して参加者が感じたこと

- ・ 言葉の違いを意識する必要がなかった。
- ・ 言葉が使えない分、自分の意思を一生懸命伝えようという思いや、相手の意思を汲み取ろうという気持ちが強くなった。
- ・ 一つの輪になるという共通のタスクを達成するために自然と協力し合うことができた。
- ・ 自分の考えを伝えるために主体的に行動する必要があった。 等

Birthday Lineのアクティビティーを通して参加者が感じられたように、幸田先生は西保見小学校6年1組の児童たちに、ひとりひとりが主体的に行動することの大切さを繰り返し伝えた。そして、自分自身のネガティブな気持ちや言動が相手からのネガティブな反応につながるのに対して、ポジティブな感情を持って相手に接することで、相手からもポジティブな反応を得られるといことを様々な取り組みを通して意識づけていった。

4) 授業実践の紹介 (35分)

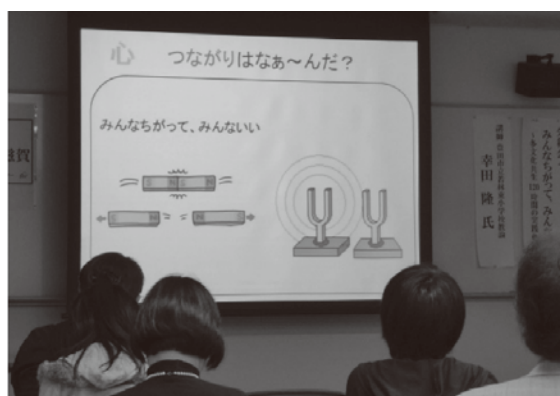
- ・ 西保見小学校の良さを宣伝する誇り新聞の作成／パネル討論をしよう
人間は完璧であるほうがいい！賛成 or 反対？
(国語)
- ・ 保見の誇りを見つけよう (社会)
- ・ 日本の伝統芸能を体験しよう (音楽)
- ・ 和の文化を体験しよう (修学旅行)
- ・ 日記、新聞 いいところ探し (学級経営)
- ・ 「友達から外国語を学ぼう」 (外国語活動)
- ・ 「文化を教え合おう」／「クラスに多文化共生の希望を！」 (学級活動)
- ・ 「当たり前って、当たり前？」／自分の文化の誇りを見つけよう ブラジル人の誇り、日本人の誇り／キャリア教育 描こう！今と未来のポジティブな自分／「全校に多文化共生の希望を！」 (総合)
- ・ 多文化共生創作劇「あのとき君が好きになったよ」 (学芸会)
(クラスの中で実際に起こったことをもとにした、45分間の創作劇)



等他多数

児童らは当初、違うことをネガティブに捉えることでぶつかり合い、不安を感じ、離れるという悪循環を繰り返していた。こうした状況を改善するために試行錯誤したが、つながりのない単発的な学習では一時的に子供たちが協力し合っても、すぐにまた元の通り反発し合っていた。つながりを意識した継続的な学習を通して児童らは変容していった。

こうした取り組みを通して、6年1組の児童の3分の2が、卒業アルバムの文集で、小学校時代の一番の思い出として、多文化共生に関する自分の成長をテーマに選り以下のような作文を書いたとのこと。



<日本人児童B 「西保見小学校で一生けん命頑張れたこと」より抜粋>

今まで私は、自分と性格のちがう人とは、あまり接しなかった。でも西保見小学校に来てから、それぞれの人の良い所を見れるようになったと思う。最初は苦手だった人とも、仲良くなることができた。大人になっても、この経験を、ずっと大切にしていきたい。

<日本人児童C 「ぼくの一生の宝物」より抜粋>

ぼくが、外国の子に教わったのは、いつでも明るく、楽しく生きること。そして純粋な心を持つこと。これがわかったのは、「違うからいい」ということが分かったからだと思う。

日本人には、ないものを外国の子が気付かせてくれた。ぼくにとって、外国の友達と過ごせたことは、一生の宝物になる。今、ぼくは、一生この宝物を大切にしていける。そう心に決めた。

<外国人児童E 「信頼への道」より抜粋>

六年生になって、先生がいつも、「信頼される人間になりなさい。」といわれるようになった。気がつけばいつも、だれかが、ぼくを支えてくれた。友達でも、家族でも、先生でも、信頼できる人たちが、ぼくを支えてくれた。今度はぼくが信頼されるようにがんばっている。

<外国人児童F 「あきらめず助け合う六の一」より抜粋>

私たちは生活、顔、全部違う。でも、「みんな違ってみんないい。」と今、私は思う。違ったほうがもっと助け合えるし、違ったほうが自然。違った方に慣れている西保見小に来てよかったなあ。西保見小は私の誇り。

5) 質疑応答 (5分)

Q：保護者にはどのような変化が見られたか？

→学芸会の劇を見て、西保見小学校でよかったという意見が寄せられた。また、子供たちとつながることでブラジルのことを理解したいと感じて、放課後教室に参加してくれる地域の人が増えた。

Q：違った環境にある学校でもこうした取り組みを行うことは可能か？

→どのような環境にある学校でも取り組むことは可能だと思う。学芸会等の学年での取り組みには同僚より多くの理解や協力を得る必要があるため、学校の状況にもよる。

海外経験のある方対象 伝え方講座 Part 3

■講師：津田 かおり さん（青年海外協力隊OG）

日時： 2013年11月9日（土）13：30～16：45

会場： ピアザ淡海 206会議室

参加者数： 22人

主催：滋賀県国際協会 共催：JICA関西、国際教育研究会 Glocal net Shiga

1. 導入：部屋の四隅

設問に対する答えが4択で示される。部屋の4隅に分かれて答えとなる場所へ移動することで答えるワーク。質問は何でも構わないが、参加者の関心や経験などを問う方が次の活動へとつなげやすく好ましい。また、他の参加者がどのような経験や考えを持っているのかが視覚的にわかり、共通項などが見出しやすかったり、もっと話を聞いてみようと思うようになったりするので、場が打ち解けやすくする活動。

問) これまでに話した経験は？

- ① なし ② 数回 ③ 10回程度 ④ ベテラン

2. 体験の整理：ブレインストーミング「理想とする体験談」

1) 「上手な伝え方とは？」について、グループでアイデアを出し合い、ポストイットに書き出し、ポスターに貼りつけていく。各グループでいくつずつ意見が出たか発表する。

- ＜ルール＞① 質より量 どんどんたくさん出す。
② 文章ではなく、単語で書き出す。
ポストイット1枚につき1単語。
簡潔に書き出す。
③ 他の人の意見について否定しない。



2) 出た意見をグループ分け（分類）し、グループ発表を行う。

「上手な伝え方に必要な要素とは？」

- 笑顔で話す。話し方。ユーモアを入れる。
- 言葉のキャッチボール、幸せのおすそ分け、手段（長く話さない、アイスブレイクを入れて細切れにすることで集中力を保ってもらおう工夫をするなど）



- 仕掛け（現地の物や民族衣装など）を用いる、参加者が五感を使って体験できるもの、話し手のテクニック
- 何を伝えたいか、参加者も一緒に参加できる、新しい世界が広がるとよい
- 話し方ツール（パワーポイントをつかって写真などを使う）、話し手は伝える内容をよく理解しておく、表情やジェスチャーを使って目を合わせて話す、興味を引き付ける、1つのテーマに絞ると伝わりやすい



3. 構成と体験談作成

1) 体験の洗い出し [心の整理☆ 50の質問シート]

ワークシートに描かれた50の質問に、自分の体験・経験を落とし込んでいく個人作業を行った。

協力隊の方に学校で話に行ってもらいたいと頼むと、自分には話すことが何もないと言われることがある。こうして体験を書き出すことで、書き出せたことは自分が経験したことであり、人に伝えられることであるので、自分の中では大したことではないと思っていたり、忘れていたことを呼び起こしたりすることになる。

また、自分の中学校時代を思い起こすことで、学校などへ話に行くときに自分はこんな中学生だったといったことを話しに交えると、身近に感じてもらえるといった効果もあるので試してもらいたい。

2) 構成の組み立て方

基本の構成シート（P35参照）を用いて、全体の構成方法を知ると共に自身の体験談を作成する。

学校からは50分間で、異文化理解や国際理解、人権、キャリア教育などの授業で講師を依頼されることが多い。起承転結に従って、プログラムを構成すると流れが良い。

「承」の部分で、紹介する国の概要について紹介することはあるが、それだけで終わってしまうだけであれば観光紹介となってしまう、皆さんが行く必要はない。どんな料理を食べ、どんな服を着て、どんな家に住んでいるかという写真を見せるのは、確かにその国の紹介ではあるが、インターネットで調べたり、観光局の専門家に来てもらえばよいだろう。みなさんには、そこに住み、その土地の人たちと交流を持って得たものがあると思うので、そこから感じたことが今の自分を作っていると思う。日々の生活や誕生日やイベントでの出来事など、一人一人が現地で体験し、現地の人と交わした言葉や交わした経験を、このエピソード・メッセージとして入れてもらいたい。

海外で暮らすと、いろいろと考えることがあると思う。また海外から日本へ来ると、どうして日本ではこうなんだろうなど、いろいろ感じることもあると思うので、日本の子どもたちに伝えたいことを考えてもらいたい。

3) メッセージの洗い出し：属性ごとのグループで、それぞれのテーマについてブレインストーミングを行う



＜属性＞…＜テーマ＞

- ①JICAボランティア
…「任国で学んだこと」
- ②海外勤務・留学経験者
…「その国で得た知恵」
- ③海外から来日した人
…「その国の良いところ・誇れるところ」

4) メッセージの作り方 キーワード・メッセージ

キーワードに関連するエピソードや素材・ツール、メッセージを考える。

また、今日何か物や写真などの素材を持ってきてくださった方は、必ずそれにまつわるエピソードがあるはずなので、物から導き出すというやり方もいい。自分の経験から日本の子どもたちに何を伝えたいかというポイントで考えてもらいたい。

〈津田さんのマラウイでの体験談例〉

キーワード：価値観 素材： 職場の人の写真

エピソード：マラウイでのうれしかった話。

マラウイの人たちは、誕生日を祝う習慣がありません。なぜかという識字率が低く、誕生日を知らない人も田舎に行くときが多いから。任期中、私の誕生日に同僚が「お誕生日おめでとう」と言ってくれた。そして、「お誕生日プレゼントを買うお金がなかったのだけど」と、恥ずかしそうに白い包みを渡してくれた。「何が入っていたと思いますか？」開けてみたら、その包みには、白い卵が3つ入っていた。彼女の家では、鶏を飼っていて卵を売って現金収入の足しにしていた。その朝生まれた卵を持ってきてくれた。私は、それがすごくうれしかった。日本では誕生日に卵をもらうなんてことは想像もできなかったし、卵をもらって、自分がこんなにうれしいと思えるとは思っていませんでした。その後、改めて物の価値って不思議だなと思った。お金を出せば、卵なんて買えるけれど、その時彼女からもらった卵はとても価値のある大切なものだった。私は、マラウイに行ったらはじめて物の価値というのは、物の値段ではないと知ることができた。こうした経験から、**それまではお金があれば何でも買えると思っていたけれど、そうではないと知ることができた。日本や先進国はお金があって豊かで、途上国は貧しいと考えられているが、それは経済的な見方だけであって、それだけがすべてじゃないよ、と日本の子どもたちに伝えている。**



4. 全体発表



エピソードに絡めて、グループ内で一人5分ずつで発表し合う。

聞いている人たちは、評価シートに記入して、発表者にプレゼントする。



5. 体験談で使える手法紹介や見せ方

(体験談で使える手法紹介 P36参照)

- 全体を見ながら、リラックスして話すように心がける
- 上手に話そうとしても難しいので、ゆっくりわかりやすく話すようにする。
- 略語や専門用語はできるだけ使わない。どうしても使うのであれば、その用語について資料にして配布しておくといよい。
- 自分らしさを意識する。自分らしさが出ていれば、自分の言葉で話せば、必ず伝わる。
- メッセージは必ず入れる。
- ○×や、手を挙げてもらったり、三択クイズを投げかけるなど、聞き手にも参加してもらうような工夫もいれる。
- 興味を持たせるような質問から進める
例) マラウイでは蟻を食べる ということについて、ただ話をしてつたえるのではなく、「マラウイでは日本で食べないものを食べる習慣があるけど、なんだと思う？」というクイズから入り、子どもたちが答えの「蟻」を見出す方が印象に残りやすい。
- パワーポイントは確かに視覚資料を用いられて便利だが、うまくいくかどうかは使い方次第。文字の効果を使いすぎたり、文字が多すぎたり、小さすぎたり、羅列が多くて話のポイントがわからなくなり、失敗しがち。
- 写真も同じようなものを2枚、3枚並列させる必要はない。写真は絞る。なぜその写真を見せるのか、この写真から何を感じ取ってもらいたいのかを考えて写真を選ぶ。
- パワーポイントに頼りすぎないことが大事。

構成シート

2013年11月9日伝え方講座

はいぶん 配分	じかん 時間	やくわり 役割	がいよう 概要	ないよう 内容	もくてき 目的
30%		き 起	アイスブレイク		
			じこ しょうかい 自己紹介		
			がいよう 概要		
20～ 30%		しょう 承	こく ようす 国の様子		
			ひとびと く 人々の暮らし		
			じぶん けいけん しごと かつどう 自分の経験(仕事・活動)		
20～ 30%		てん 転	エピソード		
			にほん もど 日本に戻って		
20%		けつ 結	メッセージ(伝えたいこと)		

起：導入の部分。緊張している場合は、アイスブレイクなどを入れる。自己紹介や経緯を話す。

承：国の紹介や、自身の活動や経験を紹介する。

転：メッセージに繋がる、対象国で接していた人や出来事などを紹介。

結：対象国での経験を通じて感じたことや思っていることを伝える。伝えたいことに沿った内容構成を心がける。

構成シート(サンプル：津田の場合50分)

テーマ：異文化理解 メッセージ：文化に正しい、誤っているということはない。また、体験より幸せとは何か？と考えさせられた。お金の多少では決まらない幸せを感じて欲しい。

はいぶん 配分	じかん 時間	やくわり 役割	がいよう 概要	ないよう 内容	もくてき 目的
30%	10分	起	アイスブレイク	げんち ご あいさつ 現地語挨拶	きょうみ も 興味を持ってもらい緊張をほぐす
	5分		じこ しょうかい 自己紹介	きょうりょくたい し など 協力隊を知ったきっかけ等	みじか かん 身近に感じてもらう(特別でない)
	5分		がいよう 概要	JICAやJOCV、マラウイについて	きほんてき ちしき え 基本的な知識を得てもらう
20～ 30%	15分	承	にん こく ようす 任国の様子	きこう どうぶつ 気候や動物について	にほん はい じょうほう 日本で入る情報には、偏りがあること
			ひとびと く 人々の暮らし	いしょくじゅう 衣食住について	かん を感じてもらう
			じぶん せいかつ かつどう 自分の生活・活動	かつどう ないよう 活動内容について	ほんにん み いふんか げんち 本人から見て異文化でも現地ではそれが文化であることを知ってもらう
20～ 30%	5分	転	エピソード	うれしかった話	もの かんが 物の価値について考えてもらう
	5分		きこく 帰国して	ぎゃく 逆カルチャーショック	で き 出なければ気づかなかったことを感じてもらう
20%	10分	結	メッセージ(伝えたいこと)	じょうき けいけん 上記の経験より	しあわ なに かんが 幸せとは何かを考えてもらう

時間内で何を伝えるか？：伝えたいことは、原則1つ(多いと逆にわかりにくくなる)

集中させるには？：物や映像は、目を引くが多うすると飽きる。クイズなどで参加する事柄も効果的。

わかりやすい話とは？：具体的に、たとえなどを用い、聞き手がイメージしやすい話。情報量ではない。

対象者によって変える部分：言葉を年齢に合わせる。メッセージは、実感できれば伝わる。低学年は、同じ活動の時間を短めにする。

主催者・参加者からの要望：異文化理解、国際理解、人権、進路学習での依頼が多い。

作成：津田 かおり

ぜんたい とお きほんてき こつ しゅほう
全体を通して（基本的なコツ・手法）

- えがお ぜんたい み はな
笑顔で全体を見ながら話す
- じょうず はな いしき はな こころ
上手に話すことは意識せず、わかりやすくゆっくり話すように心がける
→りやくご せんもんようご にんこく たいいん きょくりよくつか
略語や専門用語（任国、隊員）などは、極力使わない。
つか ばあい せつめい
使う場合は、説明を行うこと。
- じぶん いしき
自分らしさを意識する
- さいご かなら めっせーじ じぶん けいけん かん つた い
最後に必ずメッセージとして、自分が経験から感じたこと、伝えたいことを入れる
- と はつわ むずか ばあい く い す どうにゅう
問いかけても発話が難しそうな場合は、クイズなどを導入する
- しつもんじこう こた さんたく きほん さんか
質問事項は、はい・いいえで答えられるまたは、三択などを基本とすると参加しやすい
- せつめい おこな さい すべ けつろん さいしょ はな きょうみ も しつもん
説明を行う際は、全て（結論）を最初から話すのではなく、興味を持たせるように質問
しつつ進める→すす むし た なに み
「虫を食べます」ではなく、「これは、何に見えますか？」など

どうにゅう あいすぶれーきんぐ じ こしょうかい つか しゅほう
導入（アイスブレイキング）や自己紹介などで使える手法

こうか じゅこうしゃ きんちょう あと すす
効果：受講者の緊張をほぐしその後が進めやすくなります

- たいしょうこく げんご ちょうせん かみ ぼーど げんち あいさつ きにゅう ば おお
対象国の言語に挑戦・・・紙やボードに現地の挨拶を記入して、その場でより多くの
ひと あいさつ はってん さいしょ せつめい にほんご つか あいさつ まわ
人と挨拶をしてもらう（発展：最初に説明もせず日本語を使わずに挨拶をして回る）
もくてき いぶんかぎ じたいけん
目的：異文化疑似体験をしてもらう
- ちず か せかいちず か ごたいしょうこく ばしょ か
地図を描いてみよう・・・世界地図を描いてもらい、その後対象国の場所を描いてもら
う、どこから書きだしたか？等ふりかえる ※さんこうよう じっさい ちず ひつよう
参考用に実際の地図が必要

もくてき　じぶん　いしき　せかい　か　こ　こ　せかい　かん　にんしき
目的：自分の意識している世界を書いている→個々の世界観を認識してもらう

しょうかい　しょう　え　び　そ　ー　ど　てん　つか　しゅほう
紹介（承）・エピソード（転）などで使える手法

こうか　だれ　かま　さんか　はつげん
効果：誰もが構えずに参加でき発言しやすくなる

もくてき　そうそう　きょうみ　ひ　き　ことがら　たい　じぶん　かんが　も
目的：想像することにより興味を引き、その事柄に対して自分なりの考えを持たせる

- ・ ○×クイズ・・・国の習慣や様子、考え方などをクイズ形式にし、全員参加型で答えてもらう。
*ex) マラウイの旬の食べ物はブリ（魚）である。など
- ・ フォトランゲージ・・・写真を何枚か使い、その写真から情報を読み取りグループごとに話を作ってもらおう。
※写真は、テーマに沿ったものを用意し、発表後実際の話をワークシートなどに実際の話を聞く前と後で記入する欄を設けると、考え方の変化を視覚化できる。
- ・ ワークシートを作成し、補助的に使うと細かい説明を省けたり、考え・感情の変化を視覚化できたりと、便利。

ば　わ　ー　ぽ　い　ん　とりよう　ちゅういてん
パワーポイント利用の注意点

りてん　なんてん　へ　や　ぜんたいてき　くら　たんちょう
利点：わかりやすい　難点：部屋が全体的に暗くなる、単調になりやすい

- ・ 1スライド1分で考える。30分なら、30枚以内にする。写真の詰め込みすぎに注意
- ・ 文字は、全部入れない（要点を大きく見やすく表示）
- ・ あれもこれもと入れすぎない事（パワーポイントに頼り過ぎない！）

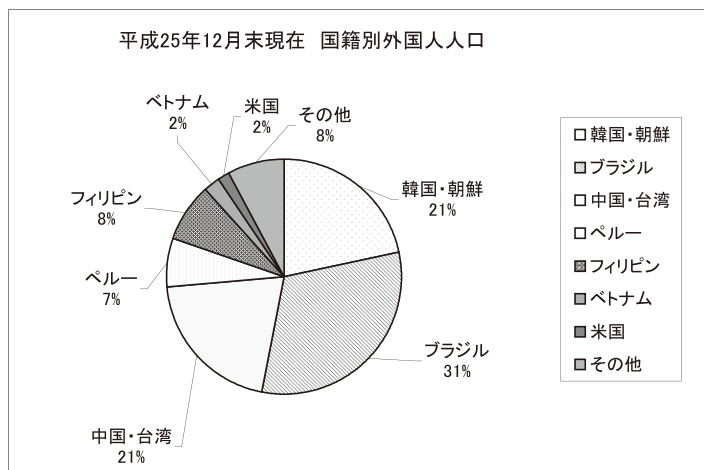
いじょう
以上

資料集

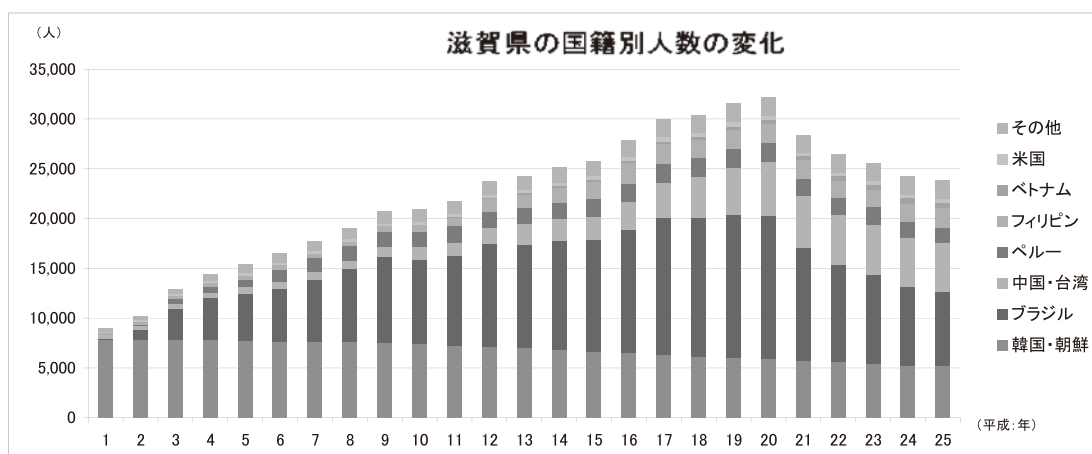
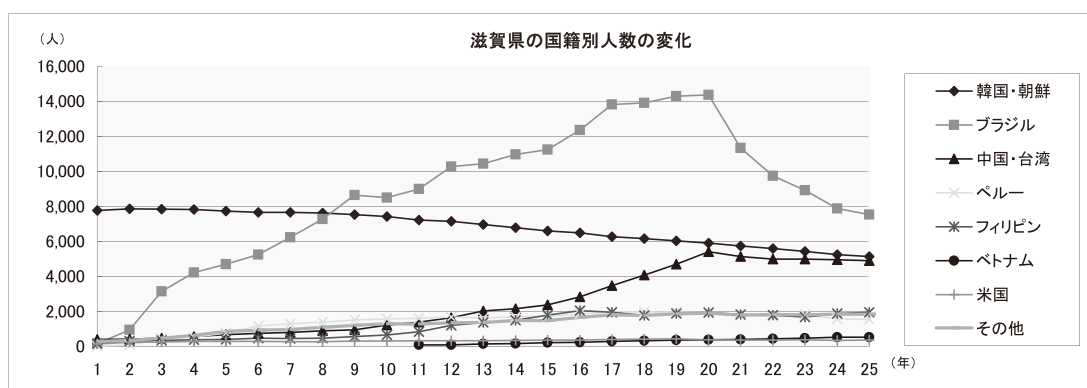
- ◇ 滋賀県における国籍別外国人人口
- ◇ 国際教育研究会 Glocal net Shiga活動報告
- ◇ 国際教育・開発教育貸出教材の紹介

滋賀県における国籍別外国人人口

公益財団法人滋賀県国際協会 作成



*国籍数等：87ヶ国1地域



外国人人口の比率が2%以上の市町村 (平成25年12月末現在)

	市町名	外国人人口(人)	総人口(人)	外国人比率(%)	備考(上位3国籍)
1	湖南市	2,315	54,893	3.89	ブラジル 1,051人、韓国・朝鮮 340人、ペルー 330人
2	愛荘町	722	21,304	3.39	ブラジル 453人、フィリピン、73人、中国・台湾 61人、
3	甲賀市	2,594	93,368	2.78	ブラジル 1,112人、中国・台湾 404人、韓国・朝鮮 287人
4	長浜市	2,971	122,783	2.42	ブラジル 1,631人、中国・台湾 442人、ペルー 233人
5	東近江市	2,605	116,088	2.24	ブラジル 1,351人、中国・台湾 381人、フィリピン 259人
	県全体	23,823	1,421,720	1.68	ブラジル 7,535人、韓国・朝鮮 5,132人、中国・台湾 4,893人

※滋賀県商工観光労働部観光交流局の調査に基づく。

※平成23年12月末までは外国人登録者数、平成24年12月末以降は住民基本台帳人口による

※平成25年12月末の統計より統計が「中国」「台湾」でそれぞれ統計をまとめています。

※県民60人(59.6人)に1人が外国人

「国際教育研究会 ぐろーかるねっと し が Glocal net Shiga」について

私たち、「国際教育研究会 **Glocal net Shiga** (ぐろーかるねっと し が)」は平成15年(2003年)4月に立ち上がったグループです。名前にある“**Glocal**”とは **Global + Local** を結びつけた造語です。“**Think Globally, Act Locally**”(地球規模で考え、地域から行動する)という開発教育/地球市民教育/グローバル教育の地域社会に対する考え方を現すことばかりあり、地球と地域を結ぶことばとして生まれました。

このような考え方をうけ、地元滋賀(Shiga)で地域に根ざした人たちをつなぎ(Network)、みんなで一緒に地球市民を育む活動に取り組んでいきたいという思いが込められています。

会のねらいについて

- 地球上には、自国文化を含め、さまざまな生活・文化等があることを知り、多様性を受け入れること **多様性の尊重**
- 地域には、さまざまな文化背景や価値観等をもつ人びとがともに暮らしていることを認識し、多文化共生の意識を育むこと **多文化共生社会づくり**
- 世界と自分はつながっていること、自分たちの生活と地球のどこかで起こっている問題が密接につながっていることを理解すること **相互依存関係の理解**
- 地球的課題を解決するために行動すること **公正・平和な社会づくり**
など

こうしたことをねらいとして、さまざまな実践方法(おもに参加型学習法)を学びながら、国際教育を促進することを目的としています。教育関係者・国際協力NGO関係者・外国籍住民・地域国際協会関係者、学生、青年海外協力隊OVなど、さまざまな立場や経歴の持ち主が参加しています。これまでに滋賀県の特徴を生かした題材をとらえ、「ブラジルボックス」・「カルタ“わたしん家(ち)の食事から”」・「非識字体験ゲーム『ここは、何色?』『初めてののお見舞い』」・「『言葉がわからない』体験ゲーム 何が起こった?(震災編)」の教材を開発してきました。また、より多くの方に国際教育を体験していただくよう年数回、国際教育ワークショップを開催しております。今後も幅広い知識や情報の交換を行い、より深みのある内容を取り上げていきたいと考えています。

入会について

毎月1回日曜日に例会を開催しています。さまざまな経歴のメンバーが集まるクラブ活動のような会です。渡航経験や語学については、まったく心配していただく必要はありませんので、この研究会にご関心のある方は、お気軽に下記までお問い合わせください。国際教育・開発教育についての企画相談、講師派遣も随時承ります。

＜お問合せ先＞

公益財団法人滋賀県国際協会 担当 大森

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海 2階

電話:077-526-0931 ファックス:077-510-0601

E-mail:omori@s-i-a.or.jp

研究会25年度の活動について

開催日	内 容
4 / 21	教材体験フェア 分科会デモンストレーション 国際教育教材体験フェア、「わたしん家の食事から 改訂版」作成について話し合い 8/5 多文化共生のための国際理解教育・開発教育セミナー（神戸）からの講師依頼について
5 / 11	堀川高校生による「わたしん家の食事から カードゲーム版」試作品デモンストレーション 教材体験フェア 分科会に参加
6 / 29	川崎さんによるブータン紀行報告、「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成について話し合い 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について話し合い
7 / 21	滋賀県総合教育センター「環境学習講座」で実践するプログラム「ウーリーシンキング」デモンストレーション 「わたしん家の食事から カードゲーム版」改訂作業 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について話し合い
7 / 29	滋賀県総合教育センター「環境学習講座」へ講師派遣
8 / 5	JICA関西 国際理解・多文化共生のためのセミナー分科会で「わたしん家の食事から カードゲーム版 試作版」を実践
8 / 17	開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブルで「わたしん家の食事から カードゲーム版 試作版」を堀川高校生が実践
9 / 21	JICA関西 多文化共生セミナー分科会および開発教育協会全国研究集会 自主ラウンドテーブル実践報告 「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成作業、滋賀県人権教育課人権教育リーダー養成講座報告
10 / 11	大津市立仰木中学校 総合的な学習 国際理解学習への講師派遣
10 / 26	「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成について話し合い 開発教育協会 教材体験FESTA 2014について話し合い
11 / 7	伝え方講座 参加
11 / 24	「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成について話し合い
11 / 25	大津市立打出中学校 総合的な学習 国際理解学習への講師派遣
12 / 7	「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成について話し合い 次年度教材体験フェアについて話し合い
1 / 11	国際教育ワークショップ 参加
1 / 25	「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成について話し合い 3月開発教育協会主催 教材体験FESTAでの分科会の進め方について話し合い
1 / 28	大津市立葛川中学校 総合的な学習 国際理解学習への講師派遣
2 / 16	Glocal net Shiga 10周年記念企画について話し合い 次年度教材体験フェア 分科会デモンストレーション 「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成作業
3 / 9	次年度教材体験フェア 分科会デモンストレーション、 「わたしん家の食事から カードゲーム版」作成作業 次年度 滋賀県総合教育センター 10年経験者選択研修について話し合い



開発教育全国研究集会 自主ラウンドテーブルで堀川高校生が教材試作品を実践

国際教育・開発教育教材の紹介および貸し出し規定について

公益財団法人 滋賀県国際協会

当協会では、国際理解教育および開発教育に関する資料・教材（ビデオ等も含む）を576点（H26年度末現在）所蔵しており、自由に閲覧・視聴することができますので、お気軽にご利用ください。

なお、当協会ホームページからも教材目録、貸出申請書様式が入手できます。

<http://www.s-i-a.or.jp/kokusai/kyouzai/index.htm>

<利用について>

- 閲覧・視聴 どなたでもご自由にご利用いただけます。
ただし、事務所にて保管しておりますので、閲覧を希望される場合は、職員にその旨お伝えください。
- 利用時間 日曜日から金曜日まで（祝日を除く） 午前9時から午後5時まで
- 貸 出 原則として、会員および団体（学校を含む）に限ります。
所定の貸出申込書にご記入の上、当協会窓口にご提出ください。
貸出期間：2週間以内（申請により期間延長可能）
貸出冊数：1回5点以内
- 返 却 当協会窓口まで直接ご返却ください。やむを得ないと認められる場合は、借受側の料金負担のもとに郵送・託送を認めます。
なお、破損、紛失の場合は実費をご負担いただきます。



貸出教材の一部

<お問合せ先>

公益財団法人 滋賀県国際協会

〒520-0801 大津市におの浜1-1-20 ピアザ淡海2階

電話 077-526-0931 ファックス 077-510-0601

HP <http://www.s-i-a.or.jp> E-mail siamail@mx.bw.dream.jp

国際教育・開発教育 貸出教材目録

	分類番号	教 材 名	種 類	対 象
1	0-0概論1	NGOスタッフのための国内事業ハンドブック	開発教育協会 ブックレット	
2	0-0概論2	参加型 ワークショップ入門	明石書店 書籍	
3	0-0概論3	テキスト国際理解	国土社 書籍	
4	0-0概論4	国際理解教育 地球市民を育てる授業と構想	国土社 書籍	
5	0-0概論5	国際理解 重要用語300の基礎知識	明治図書 書籍	
6	0-0概論6	南北問題と開発教育 地球市民として生きるために	亜紀書房 書籍	
7	0-0概論7	開発教育2006 Vol.53 特集 開発教育と教材	明石書店 書籍	
8	0-0概論8	地球市民教育のすすめかた	明石書店 書籍	小学生以上
9	0-0概論9	はてな？ なぜかしら？ 国際問題 全3巻	教育画劇 書籍	
10	0-0概論10	開発教育2006 No.47	開発教育協会 ブックレット	
11	0-0概論11	開発教育2006 No.49 特集 開発教育のこれまでとこれから	開発教育協会 ブックレット	
12	0-0概論12	開発教育2006 No.50 特集 平和を築く学び	開発教育協会 ブックレット	
13	0-0概論13	開発教育2006 No.51 特集 地域から描くこれからの開発教育	開発教育協会 ブックレット	
14	0-0概論14	開発教育2006 No.52 特集 いのちを育む学び	開発教育協会 ブックレット	
15	0-0概論15	開発教育実践の手引き 開発教育ガイドブック2	国際協力推進協会 ブックレット	
16	0-0概論16	「開発教育」ってなあに？ 開発教育Q&A集 改訂版	開発教育協会 書籍	
17	0-0概論17	開発教育キーワード51 開発教育ブックレットシリーズNo.5	開発教育協議会 ブックレット	
18	0-0概論18	新しい開発教育のすすめ方	古今書院 書籍	小学生以上
19	0-0概論19	新しい開発教育のすすめ方II	古今書院 書籍	小学生以上
20	0-0概論20	World studie 学びかた・教えたかたハンドブック	国際理解教育センター 書籍	
21	0-0概論21	地球市民を育む学習 -Global teacher, Global learner	明石書店 書籍	小学生以上
22	0-0概論22	DEAR News 100号～	開発教育協会 ニュースレター	
23	0-0概論23	開発教育 特集参加型開発と参加型学習	開発教育協会 書籍	
24	0-0概論24	いっしょにESD！環境・人権・参加の新世紀教育	国際理解教育センター ブックレット	
25	0-0概論25	「地球時代」の教育とは	岩波書店 書籍	
26	0-0概論26	地域から描くこれからの開発教育	新評論 書籍	
27	0-0概論27	開発教育2008 特集 開発教育と市民性	開発教育協会 書籍	
28	0-0概論28	開発教育2009 特集 開発教育の教師・指導者とファシリテーター	開発教育協会 書籍	
29	0-0概論29	開発教育2010 特集 オルタナティブな経済と開発教育	開発教育協会 書籍	
30	0-0概論30	開発教育2011 特集 オルタナティブな教育と開発教育	開発教育協会 書籍	
31	0-0概論31	パウロ・フレイレ「被抑圧者の教育学」を読む	開発教育協会 書籍	
32	0-0概論32	世界で生きるカー自分を本当にグローバル化する4つのステップ	太郎次郎社エディタス 書籍	
33	0-0概論33	シティズンシップと教育―変容する世界と市民性	英治出版 書籍	
34	1-0実践事例1	わくわく開発教育 開発教育ブックレットシリーズNo.2	顕草書房 書籍	
35	1-0実践事例2	いきいき開発教育 総合学習に向けてたカリキュラムと教材	開発教育協議会 ブックレット	
36	1-0実践事例3	つながれ開発教育 学校と地域のパートナーシップ事例集	開発教育協議会 ブックレット	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

37	1-0実践事例4	チャレンジ総合的学習1 中学校「国際理解」ファックス教材集	明治図書	書籍	中学生以上
38	1-0実践事例5	「いのち」を考える授業プラン48	小学館	書籍	小学生以上
39	1-0実践事例6	人間関係を豊かにする授業実践プラン50	小学館	書籍	小学生以上
40	1-0実践事例7	みんなとの人間関係を豊かにする教材55	小学館	書籍	小学生以上
41	1-0実践事例8	いっしょに学ぼう Learning Together	国際理解教育センター	ブックレット	
42	1-0実践事例9	TOOL8 8つの参加型く基本ツール>を使いこなす	国際理解教育センター	ブックレット	
43	1-0実践事例10	STEP5 参加型ですすめる5つのステップ	国際理解教育センター	ブックレット	
44	1-0実践事例11	参加型で伝える12のものの見方・考え方	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
45	1-0実践事例12	対立は悪くない ～学校・地域の問題解決に活かす～	国際理解教育センター	ブックレット	
46	1-0実践事例13	Let's Cooperate 穏やかにもめごとを解決するための学びかた・教えかたハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット	
47	1-0実践事例14	ハンドブック 楽しく学び合うワークショップ	国際理解教育情報センター	ブックレット	
48	1-0実践事例15	みんなでつなごう！ 教室と世界 「総合的な学習の時間（国際理解）」に役立つ学習プラン	（財）福島県国際交流協会	ブックレット	
49	1-0実践事例16	国際理解教育ハンドブック 地域に暮らす外国人と一緒に学ぼう！	名古屋国際センター	ブックレット	
50	1-0実践事例17	参加型学習で世界を感じる 開発教育実践ハンドブック	開発教育協会	ブックレット	
51	1-0実践事例18	開発教育・国際理解教育ハンドブック 小中学校教育員用副読本	国際協力推進協会	ブックレット	
52	1-0実践事例19	教室から地球へ 開発教育・国際理解教育 虎の巻	JICA中部国際センター	ブックレット	
53	1-0実践事例20	対立から学ぼう 中等教育におけるカリキュラムと教え方	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
54	1-0実践事例21	ERIC レッスンバンク	国際理解教育センター	ペーパー	
55	1-0実践事例22	レッスンバンク 『ワールドスタディーズ』追加・発展教材集	国際理解教育センター		
56	1-0実践事例23	レッスンバンク 『人権教育ファシリテーターハンドブック』追加・発展教材集	国際理解教育センター		
57	1-0実践事例24	活動（アクティビティ）で進める国際理解教育教材 全12セット 2005年改訂版	地球の友と歩む会/LIFE	ワークキット	
58	1-0実践事例25	グローバル・クラスルーム	明石書店	書籍	
59	1-0実践事例26	身近なことから世界と私を考える授業	明石書店	書籍	
60	1-0実践事例27	市民学習実践ハンドブック	開発教育協会	書籍	
61	1-0実践事例28	国際交流・国際協力に基づくESD教材・カリキュラム	松山ESD促進実行委員会	書籍	
62	1-0実践事例29	食からみえる「現代」の授業	太郎次郎エディタス	書籍	
63	1-0実践事例30	はじまりをたどる「歴史」の授業	太郎次郎エディタス	書籍	
64	1-0実践事例31	若者のためのESD 「私」から広がる世界	ESDRG	書籍	
65	1-0実践事例32	身近なことから世界と私を考える授業Ⅱ オキナワ・多みんぞくニホン・核と温暖化	明石書店	書籍	
66	1-0実践事例33	世界と私と未来をつなぐ授業づくりガイド 開発教育・ESDを教室へ	開発教育協会	書籍	
67	1-0実践事例34	開発教育実践ハンドブック 参加型学習で世界を感じる[改訂版]	開発教育協会	書籍	
68	1-0実践事例35	社会参画の授業づくり・持続可能な社会に向けて	古今書院	書籍	
69	1-0実践事例36	ファシリテーション・グラフィック入門	明治図書出版	書籍	
70	1-0実践事例37	グループディスカッションで学ぶ社会学トレーニング	三省堂	書籍	
71	1-0実践事例38	「共に生きる」をデザインする グローバル教育教材と活用ハンドブック	メディア総合研究所	書籍	
72	1-1実践事例1	アクティビティ事典 -2002年度版-	国際理解教育センター	CD	
73	2-0南北問題1	フード・ファースト・カリキュラム 食べものを通じて世界を見つめよう	国際理解教育センター	ブックレット	中学生以上

国際教育・開発教育 貸出教材目録

74	2-0南北問題2	テーマワーク グローバルな視野を活動の中で育てる	国際理解教育センター	ブックレット	
75	2-0南北問題3	食べものから世界が見える	地球市民アカデミア	ワークキット	
76	2-0南北問題4	マジカルバナナ	地球の木	ワークキット	小中学年以上
77	2-0南北問題5	改訂版 NEWマジカルバナナ	地球の木	ワークキット	小中学年以上
78	2-0南北問題6	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	ブックレット	
79	2-0南北問題7①②	いい貿易って何だろう いっぱいのコーヒーから考える世界の貿易 開発教育教材シリーズ②	開発教育協議会	ブックレット	中学生以上
80	2-0南北問題8	たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協議会	ブックレット	小高学年以上
81	2-0南北問題9	改訂版 たずねてみよう！ カレーの世界 開発教育教材シリーズ③	開発教育協会	ブックレット	
82	2-0南北問題10①②	新・貿易ゲーム 開発教育教材シリーズ④	開発教育協会	ブックレット	小学生以上
83	2-0南北問題11	新・貿易ゲーム [改訂版]	開発教育協会	ブックレット	
84	2-0南北問題12	貧困と開発 豊かさへのエンパワーメント	開発教育協会	ブックレット	
85	2-0南北問題13	コーヒーカップの向こう側	開発教育協会	ブックレット	
86	2-0南北問題14	小学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍	小学生以上
87	2-0南北問題15	中学校 ユニセフによる地球学習の手引き	教育出版	書籍	中学生以上
88	2-0南北問題16	地球に学ぶ新しい地理授業	古今書院	ブックレット	
89	2-0南北問題17	私たちの声が聞こえますか？ 貧しい人々の声	世界銀行	ブックレット	
90	2-0南北問題18	コンビニ弁当 16万キロの旅	太郎次郎社	書籍	
91	2-0南北問題19	世界から貧しさをなくす30の方法	合同出版	書籍	
92	2-0南北問題20	世界と地球の困った現実	明石書店	書籍	
93	2-0南北問題21	歩いてみてきたモノのこし方行く末	京都自由学校	ブックレット	
94	2-0南北問題22	バナナとエビと私たち 岩波ブックレットNo.551	岩波書店	ブックレット	
95	2-0南北問題23	フェア・トレード 公正なる貿易を求めて	新評論	書籍	
96	2-0南北問題24	日本はどこへ行く？	太郎次郎社	書籍	
97	2-0南北問題25	世界の貧困 1日1ドルで暮らす人びと	青土社	書籍	
98	2-0南北問題26	発展神話の仮面を剥ぐ グローバル化は世界を豊かにするのか？	古今書院	書籍	
99	2-0南北問題27	徹底解剖100円ショップ 日常化するグローバルゼーション	コモンズ	書籍	
100	2-0南北問題28	たみちゃんとう南の人びと	明石書店	書籍	
101	2-0南北問題29	たみちゃんと南の人びと part2	明石書店	書籍	
102	2-0南北問題30	たみちゃんと南の人びと part3	明石書店	書籍	
103	2-0南北問題31	世界がもし100人の村だったら (英訳付)	マガジンハウス	書籍	小学生以上
104	2-0南北問題32	世界がもし100人の村だったら②	マガジンハウス	書籍	小学生以上
105	2-0南北問題33	世界がもし100人の村だったら③たべもの編	マガジンハウス	書籍	小学生以上
106	2-0南北問題34	世界がもし100人の村だったら④子ども編	マガジンハウス	書籍	小学生以上
107	2-0南北問題35	新・ワークショップ版 世界がもし100人の村だったら	開発教育協会	ブックレット	小学生以上
108	2-0南北問題36	改訂版 100人村カードセット	開発教育協会	ブックレット	小学生以上
109	2-0南北問題37①②	100人村ワークショップセット		ワークキット	小学生以上
110	2-0南北問題38	レヌカの学び	あおもり開発教育研究会	ワークキット	小学生以上

国際教育・開発教育 貸出教材目録

111	2-0南北問題39	ケータイの一生 ― ケータイを通して知る 私と世界のつながり	開発教育協会	ブックレット
112	2-0南北問題40	お弁当屋さんゲームー食のグローバルゼーションを考える	開発教育協会	ブックレット
113	2-0南北問題41	ケータイの裏側	コモンズ	書籍
114	2-0南北問題42	世界の半分が餓えるのはなぜ	合同出版	書籍
115	2-0南北問題43	世界がもし100人の村だったら 完結編	マガジンハウス	書籍
116	2-0南北問題44	NHK地球データマップ 世界の“今”から“未来”を考える	NHK出版	書籍
117	2-0南北問題45	原木のある森 コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍
118	2-0南北問題46	フードマイレージどこからくる？私たちの食べ物	開発教育協会	書籍
119	2-0南北問題47	世界中から人身売買がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍
120	2-0南北問題48	ワークシヨップ版 世界がもし100人の村だったら 第3版	開発教育協会	ブックレット
121	2-0南北問題49	カップめんから世界が見える	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
122	2-0南北問題50	地球の水のものがたり～命の水が遠ざかる国～	WE21 ジャパン 開発教育部会	ワークキット
123	2-0南北問題51	戦闘機1機で学校何校つくれるか？	合同出版	書籍
124	2-0南北問題52	世界から飢餓を終わらせるための30の方法	合同出版	書籍
125	2-0南北問題53	旅をしながら	いのちのことば社	絵本
126	2-0南北問題54	懐かしい未来～ラダックに学ぶこと	なつみらSHOP	書籍
127	2-0南北問題55	妹は3才 お医者さんがいてくれたなら	合同出版	書籍
128	2-0南北問題56	ダイアモンドはほんとうに美しいのか？	合同出版	書籍
129	2-0南北問題57	ぼくは8歳、エイズで死んでいくほどの話を聞いて	合同出版	書籍
130	2-0南北問題58	紛争、貧困、環境破壊をなくすために 世界の子どもたちが語る20のヒント	合同出版	書籍
131	2-1南北問題1	徹底解剖100円シヨップ 日常化するグローバルゼーション	アジア太平洋資料センター	ビデオ
132	2-1南北問題2	あぶない野菜 グローバル化する食卓	アジア太平洋資料センター	ビデオ
133	2-1南北問題3	奪われたエビ	アジア太平洋資料センター	ビデオ
134	2-1南北問題4	エビの向こうにアジアが見える	アジア太平洋資料センター	ビデオ
135	2-1南北問題5	コーヒーの秘密 南北問題が見えてくる！	アジア太平洋資料センター	ビデオ
136	2-1南北問題6	種子をまもれ！ アグリビジネスとたたかうインド農民	アジア太平洋資料センター	ビデオ
137	2-1南北問題7	バナナ植民地・フィリピン	アジア太平洋資料センター	ビデオ
138	2-1南北問題8	ゴミを生かす人びと	アジア太平洋資料センター	ビデオ
139	2-1南北問題9	路上の子どもたち ブラジル・ストリートチルドレンの闘い	アジア太平洋資料センター	ビデオ
140	2-1南北問題10	地球データマップ	NHK	ビデオ
141	2-1南北問題11	つながっている世界 今日からできることってなんだろう？	和歌山県人権啓発センター	CD
142	2-1南北問題12	身近なモノを通して考える、世界の貧困・格差・環境 私たちの暮らしと世界のつながり	関西NGO協議会	DVD
143	2-1南北問題13	あいのり「緑の革命」	日本国際飢餓対策機構	DVD
144	2-1南北問題14	ゴンドールのやさしい光 パワーポイント版	日本国際飢餓対策機構	DVD
145	2-1南北問題15	バイオ燃料 畑でつくるエネルギー	アジア太平洋資料センター	DVD
146	2-1南北問題16	食べるためのマグロ売するためのマグロ	アジア太平洋資料センター	DVD
147	2-1南北問題17	パームオイル	アジア太平洋資料センター	DVD

国際教育・開発教育 貸出教材目録

148	2-1南北問題18	懐かしい未来〜ラダックに学ぶこと〜ダイジェスト版	なつみらSHOP	DVD	
149	2-1南北問題19	おじいさんと草原の小学校	アミューズソフトエンタテインメント	DVD	
150	3-0平和1	世界を変えろお金を使い方	ダイモンド社	書籍	
151	3-0平和2	戦争をやめさせ環境破壊をくいとめる新しい社会のつくり方	合同出版	書籍	
152	3-0平和3	【図説】世界の紛争地域	PHP研究所	書籍	
153	3-0平和4	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍	
154	3-0平和5	母さん、ぼくは生きてます	マガジンハウス	書籍	
155	3-0平和6	正直な気持ちを話そう イスラエル、パレスチナのリアル・ライフ	たちばな出版	書籍	
156	3-0平和7	地雷の村で「寺子屋」づくり	PHP研究所	書籍	
157	3-0平和8①②	Talk for Peace! もっと話そう！	開発教育協議会	ブックレット	中学生以上
158	3-0平和9	アフガニスタンから来たモハメッド君のおはなし	つげ書房新社	書籍	
159	3-0平和10	ばくの見た戦争 2003年イラク	ポプラ社	書籍	
160	3-0平和11	Peace Archives 平和ミュージアム (DVD付)	岩波書店	書籍・DVD	
161	3-0平和12	なんみん 難民理解のためのワークブック 故郷をはなれて	難民事業本部	ブックレット	
162	3-0平和13	増補改訂版 Talk for Peace もっと話そう！ 平和を築くためにできること	開発教育協会	ブックレット	中学生以上
163	3-0平和14	アジアのこころ (英訳付)	自由国民社	絵本	
164	3-0平和15	サニーのおねがい 地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
165	3-0平和16	サニー カンボジアへ 続・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
166	3-0平和17	サニー ボスニア・ヘルツェゴビナへ 続々・地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
167	3-0平和18	サニー アフガニスタンへ 心をこめて地雷ではなく花をください (英訳付)	自由国民社	絵本	
168	3-0平和19	難民と地雷 全3巻	草土文化	書籍	小中学年以上
169	3-0平和20	平和のアクティビティブック	YMCA	ブックレット	
170	3-0平和21	ポーボキ、平和って、なに色？	エピック	絵本	
171	3-0平和22	イマジン9 想像してごらん、戦争のない世界を	合同出版	絵本	
172	3-0平和23	ほんのすこしの勇気から 難民のオレアちゃんがおしえてくれたこと	求龍堂	書籍	
173	3-0平和24	クラスター爆弾なんてもういらない。世界から兵器をなくすみんなの願い	合同出版	書籍	
174	3-0平和25	岩波DVDブック Peace Archives 東京・ゲルニカ・重慶 空襲から平和を考える	岩波書店	書籍・DVD	
175	3-0平和26	創造的 (クリエイティブ) に対立解決―教え方ガイド―	開発教育協会・立教大学	書籍	
176	3-0平和27	子どもとできる創造的な対立解決―実践ガイド―	開発教育協会	書籍	
177	3-0平和28	井上ひさしの子どもにつたえる日本国憲法	講談社	書籍	
178	3-0平和29	『それでも、日本人は「戦争」を選んだ』	朝日出版社	書籍	
179	3-0平和30	ピースフルな子どもたち 戦争・暴力・いじめを越えて	せせらぎ出版	書籍	
180	3-0平和31	大量破壊兵器、カラシニコフを世界からなくす方法	合同出版	書籍	
181	3-0平和32	ぼくらのアフリカに戦争がなくならないのはなぜ？	合同出版	書籍	
182	3-0平和33	さよなら紛争 (14歳の世渡り術)	河出書房新社	書籍	
183	3-1平和1	戦争の傷後 Legacies of War	国連広報センター	ビデオ	
184	3-1平和2	難民女性	UNHCR	ビデオ	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

185	3-1平和3	難民になるって、どういこと？	UNHCR	ビデオ	
186	3-1平和4	難民もみんな同じ地球人	UNHCR	ビデオ	
187	3-1平和5	世界の難民はどこに 2004年GLOBAL VIEW	UNHCR	ビデオ	
188	3-1平和6	ぼんのちよっと変えてみよう	UNHCR	ビデオ	
189	4-0環境1	もうひとつの日本地図	野草社	書籍	
190	4-0環境2	1秒の世界	ダイヤモンド社	書籍	
191	4-0環境3	地球がもし100cmの球だったら	世界文化社	書籍	
192	4-0環境4	地球では1秒間にサッカー場1面分の緑が消えている	マガジンハウス	書籍	
193	4-0環境5	あなたが世界を変える日	学陽書房	書籍	
194	4-0環境6	地球買いモノ白書	コモンズ	書籍	
195	4-0環境7	21世紀の子どもたちが地球を救う	ブロインズ新社	書籍	
196	4-0環境8	ファシリテーター入門	つげ書房新社	書籍	
197	4-0環境9	私にできることは、なんだろう	ascom	書籍	
198	4-0環境10	にもの木のある村（ベンガル語訳付）	大阪国際交流センター	絵本	
199	4-0環境11	森におかえり（英訳付）	自由国民社	絵本	
200	4-0環境12	森が海をつくる（英訳付）	自由国民社	絵本	
201	4-0環境13	空気はだれのもの？（英訳付）	自由国民社	絵本	
202	4-0環境14	ジェイクの海のなまたち（英訳付）	自由国民社	絵本	
203	4-0環境15	ホタルのくる町（英訳付）	自由国民社	絵本	
204	4-0環境16	エレナとダフニ（英訳付）	自由国民社	絵本	
205	4-0環境17	森の暮らしの記憶（英訳付）	自由国民社	絵本	
206	4-0環境18	「私たちのピン川」 北タイ環境教育カリキュラム	開発教育協会	ブックレット	
207	4-0環境19	食べものから考える環境教育ガイドブック FOOD	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット	
208	4-0環境20	コミュニケーション・エンバワースメント	エコ・コミュニケーションセンター	ブックレット	
209	4-0環境21	環境教育推進ハンドブック	国際理解教育センター	ブックレット	
210	4-0環境22	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム（生徒用）	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
211	4-0環境23	地球のみかた 地球について学ぶカリキュラム	国際理解教育センター	ブックレット	中高生以上
212	4-0環境24	未来を学ぼう わたしと地球を結ぶ価値観とビジョン	国際理解教育センター	ブックレット	小中学生以上
213	4-0環境25①②	パーム油のはなし 「地球いにやさしい」ってなんだろう？	開発教育協会	ワークキット	
214	4-0環境26	みみずのカーロ シェーファー先生の自然の学校	合同出版	書籍	
215	4-0環境27	図解 地球の真実（別冊宝島 1397）	宝島社	書籍	
216	4-0環境28	もっと話そう！エネルギーと原発のこと 参加型で学び合うための16の方法	開発教育協会	書籍	
217	4-1環境1	森はどこへ行く オーストラリアの原生林が日本の紙になるまで	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
218	4-1環境2	緑の砂漠 植林が環境を破壊する	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
219	4-1環境3	切り売りされるタイ ブレーケット島の観光開発	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
220	4-1環境4	いつかこの木に見守られて タイ植林体験記	オイスカ	ビデオ	
221	4-1環境5	緑の革命「あいのり」		ビデオ	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

222	4-1環境6	ペットボトルの水	アジア太平洋資料センター	DVD	
223	4-1環境7	世界をめぐる電子ゴミ	アジア太平洋資料センター (PARC)	DVD	
224	5-0人権1	識字BOX	国際識字年推進和泉連絡会	ワークキット・カク・ビデオ	小学生以上
225	5-0人権2	人権教育ファシリテーター・ハンドブック 参加型「気づきから築きへ」プログラム	国際理解教育センター	ブックレット	
226	5-0人権3	いっしょに考えて！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 発展編	国際理解教育センター	ブックレット	
227	5-0人権4	いっしょにすすめよう！ 人権 人権教育ファシリテーターハンドブック 実践編	国際理解教育センター	ブックレット	
228	5-0人権5	人権教育のためのコンパス [羅針盤]	明石書店	書籍	
229	5-0人権6	同和問題・人権問題学習教材 (パート4) こうもりくん	滋賀県解放県民センター	ブックレット	
230	5-0人権7	国際理解教育と人権	開放出版社	書籍	
231	5-0人権8	ブレノス・ディアス・ニッポン ～外国人が生きる「もうひとつの日本」～	ラティーナ	書籍	
232	5-0人権9	知っていますか？ 死刑と人権 一問1答	解放出版社	書籍	
233	5-0人権10	非核と先住民族の独立をめざして	現代人文社	ブックレット	
234	5-0人権11	デカセーギ 逆流する日系ブラジル人	草思社	書籍	
235	5-0人権12	米軍に土地を奪われた沖縄人	新読書社	書籍	
236	5-0人権13	ええぞ、カルロス	大阪市立総合生涯学習センター	絵本	
237	5-0人権14	チヨコレートから世界が見える人権を基盤にしたESD教材		書籍	
238	5-0人権15	『人権で世界を変える30の方法』 (ヒューマンライツ・ナウ編)	合同出版	書籍	
239	5-0人権16	あなたとわたしの幸せを築く世界人権宣言 世界人権宣言	世界人権宣言大阪連絡会議	ブックレット	
240	5-0人権17	ヘイトスピーチとたたかう！	岩波書店	書籍	
241	5-1人権1	国際人権を知っていますか ～国連と市民のとりくみ～	ヒューライツ大阪	ビデオ	
242	5-1人権2	自立をめざして ～アジアの女性とこどもたち～	ヒューライツ大阪	ビデオ	
243	5-1人権3	日本の国際化と人権 ～違いを認めあう地域社会を～	ヒューライツ大阪	ビデオ	
244	5-1人権4	女たちが語るインド	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
245	5-1人権5	もうひとつの戦争 インドの人口政策と女性たち	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
246	5-1人権6	映画ジャビルカ日本語版 私たちの電気がアボリジニの大地を壊す	アジア太平洋資料センター	ビデオ	
247	5-1人権7	ミナノ笑顔 37言語収録DVD		DVD	
248	5-1人権8	"DVD もうひとつのツーリズム「先住民族エココアの始動」 NGONPOキャンペーンハンドブック"	NPO法人さっぽろ自由学校「遊」	DVD	
249	6-0英語教育1	JAPAN ALMANAC 2005 英和対訳データ年鑑	朝日新聞社	書籍	
250	6-0英語教育2	公立小学校でやってみよう！ 英語	草木文化	書籍	小学生以上
251	6-0英語教育3	総合英語：地球市民として生きる	三修社	ブックレット	高校生以上
252	6-0英語教育4	英語で国際理解教育 (CD付) 小学1・2年版	小学館	書籍・CD	小低学年以上
253	6-0英語教育5	英語で国際理解教育 (CD付) 小学3・4年版	小学館	書籍・CD	小中学年以上
254	6-0英語教育6	英語で国際理解教育 (CD付) 小学5・6年版	小学館	書籍・CD	小高学年以上
255	6-0英語教育7	小学校英語の授業プラン つくって調べる地球環境 (CD付)	小学館	書籍・CD	小高学年以上
256	6-0英語教育8	小学生の英会話活動 ～ゲームと歌あそび～	小学館	書籍	小学生以上
257	6-0英語教育9	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！人間について	金の星社	絵本	
258	6-0英語教育10	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！平和について	金の星社	絵本	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

259	6-0英語教育11	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！環境について	金の星社	絵本	
260	6-0英語教育12	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！いろいろな文化	金の星社	絵本	
261	6-0英語教育13	英語で広がるわたしたちの世界 もっと知りたい！世界の国々	金の星社	絵本	
262	6-0英語教育14	えほんで楽しむ英語の世界	一声社	書籍	
263	6-0英語教育15	アメリカの小学校ではこうやって英語を教えている	径書房	書籍	
264	6-0英語教育16	CAN YOU FIND ME?			
265	6-0英語教育17	はじめての英語の歌—歌でおぼえるらくらくイングリッシュ	学研マーケティング	書籍	
266	6-0英語教育18	ヘンリーおじさんの英語でレッスンができる本—ネイティブが教える、子ども英語教室フレーズ集	アルク	書籍	
267	6-0英語教育19	小学校 テーマで学ぶ英語活動 BOOK1	三友社出版	書籍	
268	6-0英語教育20	和の行事えほん Annual Events in Japan Spring & Summer	Ehon House	書籍	
269	6-0英語教育21	和の行事えほん Annual Events in Japan Autumn & Winter	Ehon House	書籍	
270	6-0英語教育22①	your world 英語テキスト	サクソンコートパブリッシング	書籍	
271	6-0英語教育22②	your world 英語テキスト 別売指導用CD	サクソンコートパブリッシング	CD-ROM	
272	6-0英語教育23①	your world 国際理解テキスト	サクソンコートパブリッシング	書籍	
273	6-0英語教育23②	your world 国際理解テキスト 別売指導用CD	サクソンコートパブリッシング	CD-ROM	
274	7-0多文化1	My name is… 世界にひとつだけの名前	角川書店	書籍	
275	7-0多文化2	日本のなかの世界	新幹社	書籍	
276	7-0多文化3	多文化共生のジレンマ	明石書店	書籍	
277	7-0多文化4	多文化共生の学校づくり	明石書店	書籍	
278	7-0多文化5	多文化共生のまちづくり	明石書店	書籍	
279	7-0多文化6	多文化教育 多様性のための教育学	明石書店	書籍	
280	7-0多文化7	幼児のための多文化理解教育	明石書店	書籍	
281	7-0多文化8	多文化教育を拓く	明石書店	書籍	
282	7-0多文化9	多文化・人権教育学校をつくる	明石書店	書籍	
283	7-0多文化10	雨森芳洲と朝鮮通信使かるた	雨森芳洲庵	かるた	
284	7-0多文化11	歴史教科書 在日コリアンの歴史	明石書店	書籍	
285	7-0多文化12	滋賀のなかの朝鮮	明石書店	書籍	
286	7-0多文化13	外国人のためのお弁当 (3ヶ国語：日・中・英語)	関西生命線	書籍	
287	7-0多文化14	多文化共生保育Q&A	大阪保育子育て人権情報研究センター	ブックレット	幼児以上
288	7-0多文化15	アフリカ 理解ハンドブック —アフリカと私たち	アフリカ日本協議会	ブックレット	
289	7-0多文化16	くらべてみよう！ 日本と世界の 食べ物と文化	講談社	書籍	
290	7-0多文化17	ババラギ	立風書房	絵本	
291	7-0多文化18	世界のあいさつ	福音館書店	絵本	幼児以上
292	7-0多文化19	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ1 アフリカンドレス	明石書店	書籍	
293	7-0多文化20	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ2 アフリカンキッチン	明石書店	書籍	
294	7-0多文化21	見る・つくる・知る おしゃれなアフリカ3 アフリカンリビング	明石書店	書籍	
295	7-0多文化22	たくさんのふしぎ傑作集 手で食べる？	福音館書店	絵本	小中学年以上

国際教育・開発教育 貸出教材目録

296	7-0多文化23	たくさんのふしぎ傑作集 いっぱんの鉛筆のむこうに	福音館書店	絵本	小中学年以上
297	7-0多文化24	世界のじゃんけん	今人舎	書籍	小低学年以上
298	7-0多文化25	世界の外あそび	今人舎	書籍	小低学年以上
299	7-0多文化26	韓国・朝鮮と出会おう	国土社	書籍	小学生以上
300	7-0多文化27	中国と出会おう	国土社	書籍	小学生以上
301	7-0多文化28	フィリピンと出会おう	国土社	書籍	小学生以上
302	7-0多文化29	ブラジルと出会おう	国土社	書籍	小学生以上
303	7-0多文化30	多文化子どもの歌集 (CD付)	明石書店	ブックレット・CD	幼児以上
304	7-0多文化31	朝鮮をどう教えるか	解放出版社	書籍	
305	7-0多文化32	オーストラリア発見 (対訳本・ビデオ2本付)	豪日交流基金	ブックレット・ビデオ	小学生以上
306	7-0多文化33	いろんな国・いろんなことば 全6巻 (ビデオ付)	ポプラ社	絵本・ビデオ	小学生以上
307	7-0多文化34	ワールドカップメモリーゲーム (2セット)	アンネさん作	ワークキット	小学生以上
308	7-0多文化35	ひょうたん島問題 ～多文化共生をめざして～ (CD付)	デジタルマジック	ワークキット	中学生以上
309	7-0多文化36①②	ブラジルボックス	滋賀県国際協会	ワークキット	小学生以上
310	7-0多文化37①②	かるた “わたしん家の食事から”	滋賀県国際協会	ワークキット	小中学年以上
311	7-0多文化38	多文化共生キーワード事典	明石書店	書籍	
312	7-0多文化39	ニューカマーの子どもと学校文化	勁草書房	書籍	
313	7-0多文化40	外国人の子どもと日本の教育	東京大学出版会	書籍	
314	7-0多文化41	ブエノス・ディアス、ニッポン—外国人が生きる「もうひとつのニッポン」	ラティナーナ	書籍	
315	7-0多文化42	多文化保育論	学文社	書籍	
316	7-0多文化43	乳幼児とその家族への早期支援	北大路書房	書籍	
317	7-0多文化44	シミュレーション教材「ひょうたん島問題」	明石書店	書籍	
318	7-0多文化45	多文化共生社会と外国人コミュニティの力	現代人文社	書籍	
319	7-0多文化46	顔の见えない定住化	名古屋大学出版会	書籍	
320	7-0多文化47	「多文化パワー」社会—多文化共生を超えて	明石書店	書籍	
321	7-0多文化48	まんが クラスメイトは外国人 多文化共生20の物語	明石書店	書籍	
322	7-0多文化49	世界あちこちゆかいな家めぐり	福音館書店	書籍	
323	7-0多文化50	トイレのおかげ	福音館書店	書籍	
324	7-0多文化51	絵本で育てる情報分析力	一声社	書籍	
325	7-0多文化52	"多文化共生社会の保育者 — ぶつかってもだいじょうぶ"	北大路書房	書籍	
326	7-0多文化53	異文化コミュニケーション—新・国際人への条件	有斐閣選書	書籍	
327	7-0多文化54	絵本 世界の食事①<フランスのごはん>	農文協	書籍	
328	7-0多文化55	絵本 世界の食事②<インドのごはん>	農文協	書籍	
329	7-0多文化56	絵本 世界の食事③<韓国のごはん>	農文協	書籍	
330	7-0多文化57	絵本 世界の食事④<イタリアのごはん>	農文協	書籍	
331	7-0多文化58	絵本 世界の食事⑤<メキシコのごはん>	農文協	書籍	
332	7-0多文化59	絵本 世界の食事⑥<ドイツのごはん>	農文協	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

333	7-0多文化60	絵本	世界の食事⑦<ブラジルのごはん>	農文協	書籍	
334	7-0多文化61	絵本	世界の食事⑧<中国のごはん>	農文協	書籍	
335	7-0多文化62	絵本	世界の食事⑨<タイのごはん>	農文協	書籍	
336	7-0多文化63	絵本	世界の食事⑩<トルコのごはん>	農文協	書籍	
337	7-0多文化64	絵本	世界の食事⑪<モンゴルのごはん>	農文協	書籍	
338	7-0多文化65	絵本	世界の食事⑫<フィンランドのごはん>	農文協	書籍	
339	7-0多文化66	絵本	世界の食事⑬<ベトナムのごはん>	農文協	書籍	
340	7-0多文化67	絵本	世界の食事⑭<スペインのごはん>	農文協	書籍	
341	7-0多文化68	絵本	世界の食事⑮<ペルーのごはん>	農文協	書籍	
342	7-0多文化69	The World of Street Food	Easy quick meals to cook at home	ニュー・インターナショナル・ジャパン	書籍	
343	7-0多文化70	原木のある森	コーヒーのはじまりの物語	アフリカ理解プロジェクト	書籍	
344	7-0多文化71	非識字体験ゲーム	「ここは、何色?」「はじめてのお見舞い」	滋賀県国際協会	ワークキット	小学4年以上
345	7-0多文化72	「言葉がわからない」体験ゲーム	何が起った? (震災編)	滋賀県国際協会	ワークキット	小学4年以上
346	7-0多文化73	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜	第1巻 生きる知恵	学研教育出版	書籍	
347	7-0多文化74	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜	第2巻 人情	学研教育出版	書籍	
348	7-0多文化75	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜	第3巻 損得と運	学研教育出版	書籍	
349	7-0多文化76	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜	第4巻 才能と経験	学研教育出版	書籍	
350	7-0多文化77	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜	第5巻 世の中	学研教育出版	書籍	
351	7-0多文化78	日本と世界のおもしろことわざ〜ことわざで文化を比較しよう〜	第6巻 ことわざのいろいろ	学研教育出版	書籍	
352	7-0多文化79	私も「移動する子ども」だった	異なる言語の間で育った子どもたちのライフストーリー	くろしお出版	書籍	
353	7-0多文化80	在日コリアン女性20人の軌跡		明石書店	書籍	
354	7-0多文化81	ぐずぐず言わせて! わたしらの居場所	「わたしのこと」シリーズ vol.2	(財)神奈川県国際交流協会	書籍	
355	7-0多文化82	先住民族とESD		立教大学ESD研究センター	書籍	
356	7-0多文化83	続・先住民族とESD		立教大学ESD研究センター	書籍	
357	7-0多文化84	教材『CHAMPURREANDO〜世界のウチナーンチュ発! 多文化共生』		NPO法人沖縄NGOセンター	教材セット	
358	7-0多文化85	世界のウチナーンチュかるたチャンプレアランド	日本語+英語版	NPO法人沖縄NGOセンター	カルタ	
359	7-0多文化86	3・11後の多文化家族	未来を拓く人びと	明石書店	書籍	
360	7-0多文化87	外国にルーツを持つ子どもたち	思い・制度・展望	(財)アジア・太平洋人権情報センター	書籍	
361	7-0多文化88	いつだって、そばにいるよ。		NTT出版	書籍	
362	7-0多文化89	未来をつくる教育ESD—持続可能な多文化社会をめざして		明石書店	書籍	
363	7-0多文化90	異文化間教育—文化間移動と子どもの教育		明石書店	書籍	
364	7-0多文化91	言葉図鑑	なまえのことばとくらしのことは1 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本	
365	7-0多文化92	言葉図鑑	なまえのことばとくらしのことは2 にほんご・えいご・ポルトガルご・スペインご	偕成社	絵本	
366	7-0多文化93	フィリピンかあちゃん奮闘記	in ジャパン	文化社	書籍	
367	7-0多文化94	異文化理解入門		平凡社	書籍	
368	7-0多文化95	外国人から見えたニッポン		ディスカヴァー・トゥエンティワン	書籍	
369	7-0多文化93	Playtime		Oxfam	英語絵本	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

370	7-0多文化94	Bicycles			Oxfam	英語絵本	
371	7-0多文化95	Home			Oxfam	英語絵本	
372	7-0多文化96	Our Animals			Oxfam	英語絵本	
373	7-0多文化97	At School			Oxfam	英語絵本	
374	7-1多文化1	アニニョハシムニカ 素顔の韓国 サワデリカー	はば笑みの国・タイ		アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ	
375	7-1多文化2	スラマシアン インドネシアの子どもたち			アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ	
376	7-1多文化3	マブハイ 陽気なフィリピンの子どもたち			アジア女性交流・研究フォーラム	ビデオ	
377	7-1多文化4	となり生きる外国人			アジア太平洋資料センター	ビデオ	
378	7-1多文化5	国際理解 はじめの一步	インドネシア・バリ島編		インドネシア教育振興会	CD	
379	7-1多文化6	Ciranda,Cirandinha			多文化共生センター	CD	
380	7-1多文化7	孤独なツバメたち〜デカセキの子供に生まれて〜			TOボックス	DVD	
381	8-0写真1	百年の愚行			紀伊国屋書店	書籍	
382	8-0写真2	「ゴミと宝石」 フィリピン、スモーカーマウンテンの子供たち			第三書館	書籍	
383	8-0写真3	イラクに生きる I love Iraq			国土社	書籍	
384	8-0写真4	INDIA Fairs&Festivals			学研	書籍	
385	8-0写真5	Who? 報道されないアフガンの素顔			平和出版	書籍	
386	8-0写真6	地球の仲間たち フォトランゲージ	アメリカ合衆国		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
387	8-0写真7	地球の仲間たち フォトランゲージ	エクアドル		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
388	8-0写真8	地球の仲間たち フォトランゲージ	エチオピア		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
389	8-0写真9	地球の仲間たち フォトランゲージ	ガーナ		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
390	8-0写真10	地球の仲間たち フォトランゲージ	コートジボアール		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
391	8-0写真11	地球の仲間たち フォトランゲージ	コスタリカ		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
392	8-0写真12	地球の仲間たち フォトランゲージ	コロンビア		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
393	8-0写真13	地球の仲間たち フォトランゲージ	スリランカ		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
394	8-0写真14	地球の仲間たち フォトランゲージ	中国		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
395	8-0写真15	地球の仲間たち フォトランゲージ	ニカラグア		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
396	8-0写真16	地球の仲間たち フォトランゲージ	ニジェール		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
397	8-0写真17	地球の仲間たち フォトランゲージ	ネパール（ニッキー）		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
398	8-0写真18	地球の仲間たち フォトランゲージ	ネパール（ブラサンタ）		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
399	8-0写真19	地球の仲間たち フォトランゲージ	ハンガリー		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
400	8-0写真20	地球の仲間たち フォトランゲージ	パキスタン		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
401	8-0写真21	地球の仲間たち フォトランゲージ	バヌアツ		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
402	8-0写真22	地球の仲間たち フォトランゲージ	バブアニューギニア		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
403	8-0写真23	地球の仲間たち フォトランゲージ	パラグアイ		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
404	8-0写真24	地球の仲間たち フォトランゲージ	ブルガリア		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
405	8-0写真25	地球の仲間たち フォトランゲージ	ホンジュラス		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
406	8-0写真26	地球の仲間たち フォトランゲージ	ボツワナ		開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上

国際教育・開発教育 貸出教材目録

407	8-0写真27	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ポリビア	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
408	8-0写真28	地球の仲間たち	フォトランゲージ	モルディブ	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
409	8-0写真29	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ラオス	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
410	8-0写真30	地球の仲間たち	フォトランゲージ	ヨルダン	開発教育を考える会	ワークキット	小学生以上
411	8-0写真31	地球家族			TOTO出版	写真書籍	
412	8-0写真32	続地球家族			TOTO出版	写真書籍	
413	8-0写真33	地球の食卓			TOTO出版	写真書籍	
414	8-0写真34	祝祭 世界の祭り・民族・文化			クレオ	写真書籍	
415	8-0写真35	地球人記			福音館書店	写真書籍	
416	8-0写真36	地球人生活記			福音館書店	写真書籍	
417	8-0写真37	地球家族フォトランゲージ版			国際理解教育センター	写真	小学生以上
418	8-0写真38①②	地球家族フォトランゲージ版 (A4版)			国際理解教育センター	写真	小学生以上
419	8-0写真39	地球家族フォトランゲージ版 (A3版)			国際理解教育センター	写真	小学生以上
420	8-0写真40	地球の食卓フォトランゲージ (B4版)			TOTO出版	写真	小学生以上
421	8-0写真41	MONO変身図鑑			JICA	写真、CD	
422	8-0写真42	写真集「ギフト」 GIFT to children of Angkor			マガジンハウス	書籍	
423	8-0写真43	地球の仲間たち CD-Rom版			開発教育を考える会	CD	
424	8-0写真44①②	写真で学ぼう！ 地球の食卓 学習プラン1 0			開発教育協会	写真、解説書	
425	8-0写真45	地球のごはん 世界30カ国80人のいただきます			TOTO出版	写真書籍	
426	9-0メディア1	ニュースに耳を傾ける プローバル・エキスパレス第1号			開発教育協会	ブックレット	
427	9-0メディア2	攻撃を超えて プローバル・エキスパレス第2号			開発教育協会	ブックレット	
428	9-0メディア3	難民 プローバル・エキスパレス第3号			開発教育協会	ブックレット	
429	9-0メディア4	イラク グローバル・エキスパレス第4号			開発教育協会	ブックレット	
430	9-0メディア5	戦争報道 プローバル・エキスパレス第5号			開発教育協会	ブックレット	
431	9-0メディア6	メディア・リテラシー 【入門編】			リベラル出版	書籍	
432	9-0メディア7	NIE ワークシート 100例			晩成書房	書籍	
433	9-0メディア8	時事問題を教室へーグローバルエキスパレス(無料ダウンロード版)			開発教育協会		
434	10-0子ども1	アジアの子ども			明石書店	書籍	
435	10-0子ども2	シエラレオネ 5歳まで生きられない子どもたち			アートン	書籍	
436	10-0子ども3	こどもの権利を買わないで-ブンとミーチャのものがたり (英訳付)			自由国民社	絵本	
437	10-0子ども4	「日本の子どもは何をして働いているの？」			国際子ども権利センター	絵本	
438	10-0子ども5	世界の子どもたち NGOの現場から			明石書店	書籍	
439	10-0子ども6	ロサーリオの死 -少女の残したものの-			日本ユニセフ協会	書籍	
440	10-0子ども7	子ども地球白書2002-2003			朔北社	書籍	
441	10-0子ども8	児童の権利に関する条約			外務省	ブックレット	
442	10-0子ども9	世界の子どもたちに今おきていること			日本ユニセフ協会	書籍	
443	10-0子ども10	多発する少女買春 子どもを買う男たち			新評論	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

444	10-0子ども11	子どもたちのアフリカ		岩波書店	書籍	
445	10-0子ども12	「ストリートチルドレン・100人の子どもたち」教材パッケージ（ビデオ2本付）		シャプラニール	ワークキット・ビデオ	小高学年以上
446	10-0子ども13	わたし8歳、カカオ畑で働きつけて		ACE	書籍	
447	10-0子ども14	ワークシヨップ『大切なものは何ですか?』～こどもたちがうつしたカンボジアの今		インターナショナル・セクター・センター（Edu）	ワークキット	
448	10-0子ども15	スクールセクシャルハラスメント		国際子ども権利センター	書籍	
449	10-0子ども16	子どもの権利条約カードとユニセフポスターセット			ワークキット	
450	10-0子ども17	おいしいチヨコレートの真実～働く子どもたちとわたしたちとのつながり～		ACE	ワークキット	
451	10-0子ども18	もたないばあさんと考えよう世界のこと		講談社	書籍	
452	10-0子ども19	ぼくら地球市民1 戦争なんてもうやめて		大月書店	書籍	
453	10-0子ども20	ぼくら地球市民2 キッズパワーが世界を変える		大月書店	書籍	
454	10-0子ども21	ぼくら地球市民3 わたしと地球の約束		大月書店	書籍	
455	10-0子ども22	どこにいるかわかる?			書籍	
456	10-0子ども23	世界の子どもたちは今—子ども兵士		リブリオ出版	書籍	
457	10-0子ども24	世界の子どもたちは今—児童労働		リブリオ出版	書籍	
458	10-0子ども25	世界の子どもたちは今—子どもの人身売買		リブリオ出版	書籍	
459	10-0子ども26	“『ぼくは12歳、路上で暮らしはじめたわけ。——私には何ができますか? その悲しみがなくなる日を夢見て』”		合同出版	書籍	
460	10-0子ども27	子どもの参加を促すガイド		jine	書籍	
461	10-0子ども28	貧しい国で女の子として生きるといこと 開発途上国からの5つの物語		遊タイム出版	書籍	
462	10-0子ども29	「世界中の子どもに教育を」キャンペーン2011 女の子と女性の教育		「世界中の子どもに教育を」キャンペーン事務局	ワークキット	
463	10-0子ども30	おかえり、またあえたね ストリートチルドレン・トトのものがたり		東京書籍	書籍	小学生～
464	10-0子ども31	ダイヤモンドより平和がほしい—子ども兵士・ムリアの告白		汐文社	書籍	
465	10-1子ども1	I am child! 働かされる子供たち		ILO	ビデオ	
466	10-1子ども2	STOP CHILD LABOUR		ILO	ビデオ	
467	11-0地図1	くらべてわかる世界地図① 暴力の世界地図		大月書店	書籍	
468	11-0地図2	くらべてわかる世界地図② 学校の世界地図		大月書店	書籍	
469	11-0地図3	くらべてわかる世界地図③ ジェンダーの世界地図		大月書店	書籍	
470	11-0地図4	くらべてわかる世界地図④ 福祉の世界地図		大月書店	書籍	
471	11-0地図5	くらべてわかる世界地図⑤ 文化の世界地図		大月書店	書籍	
472	11-0地図6	ワールドバンクミニアトラス		シュプリンガー・フェアラーク東京	書籍	
473	11-0地図7	食料の世界地図		丸善	書籍	
474	11-0地図8	NHKスペシャル データマップ63億人の地図 いのちの地図帳		アスコム	書籍	
475	11-0地図9①②	No Longer Down Under		Hallifax	地図	
476	11-0地図10	世界がみえる 地図の絵本		あすなろ書房	絵本	
477	11-0地図11①②	Mapping our World		Oxfam	ブックレット	小高学年以上
478	11-0地図12	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2003年版		成美堂出版	書籍	
479	11-0地図13	今がわかる 時代がわかる 世界地図 2005年版		成美堂出版	書籍	
480	11-0地図14	今がわかる 時代がわかる 日本地図 2005年版		成美堂出版	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

481	11-0地図15	Hunger Map もう一枚の世界地図	国際連合世界食糧計画	ブックレット	小学生以上
482	11-0地図16	Hunger Map ハンガーマップ	国際連合世界食糧計画	ワークキット	
483	11-0地図17	イエティを探せ	ゆまに書房	絵本	
484	11-0地図18	ピーター図マップ	Oxfam	地図	
485	11-0地図19	世界地図（アフリカ中心）		地図	
486	11-0地図20	<文化の世界地図> 大型地図		地図	
487	11-0地図21	<文化の世界地図> 解説冊子		冊子	
488	11-0地図22	“EARTH at NIGHT 宇宙から見た夜の地球 授業指導例（ポスター）指導書付き”		地図	
489	12-0国際協力1①②③	JICA フォトランゲージキット	国際協力事業団	ワークキット	
490	12-0国際協力2	いま私たちにできること	国際協力事業団	ブックレット	
491	12-0国際協力3①②	ミレニアム開発目標 とともに生きる地球市民	外務省	ブックレット	
492	12-0国際協力4	人口問題 グリーフィング・キット2001	アジア人口・開発協会	ブックレット	
493	12-0国際協力5	世界人口白書2002 人々・貧困・ひろがる可能性	アジア人口・開発協会	ブックレット	
494	12-0国際協力6	世界子供白書2003	ユニセフ	ブックレット	
495	12-0国際協力7	世界子供白書2004	ユニセフ	ブックレット	
496	12-0国際協力8	世界子供白書2005 危機に晒される子どもたち	ユニセフ	ブックレット	
497	12-0国際協力9	世界子供白書2006 存在しない子どもたち	ユニセフ	ブックレット	
498	12-0国際協力10①②	開発のための教育	ユニセフ	ブックレット	
499	12-0国際協力11①②	地球のともだち ユニセフワークブック	ユニセフ	ブックレット	小高学年以上
500	12-0国際協力12①②	「総合的な学習の時間」とユニセフ	ユニセフ	ブックレット	
501	12-0国際協力13	わたしの権利 みんなの権利	ユニセフ	ブックレット	
502	12-0国際協力14①②	子どもの権利条約 カードブック	ユニセフ	ブックレット	
503	12-0国際協力15①②	ユニセフと世界のともだち	ユニセフ	ブックレット	小学生以上
504	12-0国際協力16①②	国際理解カード	国際協力推進協会	ワークキット	
505	12-0国際協力17	学校と地域がつくる国際理解教育	武蔵野市国際交流協会	ブックレット	
506	12-0国際協力18	学校と地域がつくる国際理解教育 NGO編	武蔵野市国際交流協会	ブックレット	
507	12-0国際協力19	授業に役立つ総合学習の手引き 平成11年度高校教師海外研修に参加して	国際協力事業団	ブックレット	
508	12-0国際協力20	国際理解教育の手引き 先生が見てきた国際協力の舞台 H12中学校	国際協力事業団	ブックレット	
509	12-0国際協力21	国際理解教育の手引き 地球を枕に夢を見よう H12高校	国際協力事業団	ブックレット	
510	12-0国際協力22	国際理解教育の手引き H13高校	国際協力事業団	ブックレット	
511	12-0国際協力23	国際理解教育の手引き H13中学校	国際協力事業団	ブックレット	
512	12-0国際協力24	国際理解教育の手引き H14高校	国際協力事業団	ブックレット	
513	12-0国際協力25	国際理解教育の手引き H15小学校	国際協力事業団	ブックレット	
514	12-0国際協力26	協力隊体験を伝えよう2 生きる力を育てるワークショップ集	青年海外協力協会	ブックレット	
515	12-0国際協力27	国連ってなあに？	国連広報センター	ブックレット	
516	12-0国際協力28	みんなの国連	国連広報センター	ブックレット	
517	12-0国際協力29	いっしょにやろうよ 国際ボランティアNGOガイドブック	三省堂	書籍	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

518	12-0国際協力30	市民参加で世界を変える	朝日新聞社	書籍	
519	12-0国際協力31	せかいじゅうにおともだちをつくろう	国際協力推進協会	紙芝居	
520	12-0国際協力32	食べものから世界が見える、どこからきたの？	国際協力推進協会	紙芝居	
521	12-0国際協力33	ごはんのこしていいの？	国際協力推進協会	紙芝居	
522	12-0国際協力34	「援助」する前に考えよう 参加型開発とPLAがわかる本	開発教育協会	書籍	
523	12-0国際協力35	国際協力と開発教育－「援助」の近未来を探る	明石書店	書籍	
524	12-0国際協力36	「国際協力」をやってみませんか？仕事として、ボランティアで、普段の生活でも	小学館	書籍	
525	12-1国際協力1	国際協力って知ってる？	国際協力事業団	ビデオ	
526	12-1国際協力2	ようこそ日本へ！ 日本で学ぶ世界の研修員	国際協力事業団	ビデオ	
527	12-1国際協力3	人のチカラが世界を変える！	国際協力事業団	ビデオ	
528	12-1国際協力4	協力隊って、なんだろう？	国際協力事業団	ビデオ	
529	12-1国際協力5	JICA紹介ビデオ GUIDE TO JICA 日本語版	JICA	ビデオ	
530	13-0韓国文化1	一目で見る韓国	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
531	13-0韓国文化2	壇君神話	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
532	13-0韓国文化3	一目で見る韓国の歴史	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
533	13-0韓国文化4	高句麗への旅	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
534	13-0韓国文化5	韓国の伝統 (的生活)	太田次郎社	絵本 (韓英)	
535	13-0韓国文化6	韓国の遊び	太田次郎社	絵本 (韓英)	
536	13-0韓国文化7	韓国のシンボル	太田次郎社	絵本 (韓英)	
537	13-0韓国文化8	韓国の礼儀と風習	太田次郎社	絵本 (韓英)	
538	13-0韓国文化9	韓国へ行こう！	太田次郎社	絵本 (韓英)	
539	13-0韓国文化10	ソウルへ行こう！	太田次郎社	絵本 (韓英)	
540	13-0韓国文化11	栗谷李珥	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
541	13-0韓国文化12	世宗大王	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
542	13-0韓国文化13	李舜臣	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
543	13-0韓国文化14	安重根	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
544	13-0韓国文化15	柳順寛	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
545	13-0韓国文化16	金九	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
546	13-0韓国文化17	興夫と懶夫	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
547	13-0韓国文化18	お日さまとお月さま	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
548	13-0韓国文化19	青大将ソンビ	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
549	13-0韓国文化20	孝行娘沈清	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
550	13-0韓国文化21	あずき粥婆さんと虎	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
551	13-0韓国文化22	一粒の粟で結婚した男	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
552	13-0韓国文化23	五人の力士 (力持ち)	太田次郎社	絵本 (ハングル)	
553	13-0韓国文化24	新聞記者が高校生に語る 日本と朝鮮半島100年の明日	彩流社	書籍	
554	13-0韓国文化24	ユンノリ物語	太田次郎社	絵本 (ハングル)	

国際教育・開発教育 貸出教材目録

555	13-1韓国文化1	韓国朝鮮のあいさつの言葉	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
556	13-1韓国文化2	韓国朝鮮の親族呼称	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
557	13-1韓国文化3	韓国朝鮮料理	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
558	13-1韓国文化4	民族衣装と紐の結び方	太田次郎社	バネル	
559	13-1韓国文化5	初誕生日の服と婚礼服	太田次郎社	バネル	
560	13-1韓国文化6	千字文	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
561	13-1韓国文化7	ハングル	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
562	13-1韓国文化8	ウリナラ旅行図と半島図	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
563	13-1韓国文化9	生活案内標示・交通安全標識	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
564	13-1韓国文化10	不思議な体	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
565	13-1韓国文化11	図形	太田次郎社	バネル	
566	13-1韓国文化12	色	太田次郎社	バネル	
567	13-1韓国文化13	数字	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
568	13-1韓国文化14	動物	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
569	13-1韓国文化15	果物・野菜	太田次郎社	バネル*	*印 日本語解説つき
570	14-0移民 1	カリナのブラジルとニッポン	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
571	14-0移民 2	弁当からミックスプレートへ	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
572	14-0移民 3	ハワイにわたった日系移民	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
573	14-0移民 4	海を渡った日本人	JICA横浜海外移住資料館	紙芝居	
574	14-0移民 5	移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ	
575	14-0移民 6	目で見るブラジル日本移民の百年	風響社	写真集	
576	14-0移民 7	日本・ブラジル 移民カルタ	JICA横浜海外移住資料館	カルタ	

国際教育 地球市民を地域とともに育てよう Part12 報告書

発行日 平成26年（2014年）3月

発 行 公益財団法人滋賀県国際協会

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1-1-20

ピアザ淡海 2 階

電話 077-526-0931

FAX 077-510-0601

Email siamail@mx.bw.dream.jp

URL <http://www.s-i-a.or.jp>

印 刷 佐々木印刷有限公司



分科会1
「権利の宝箱～子どもの幸せのために大切なもの～」



分科会2
「カンボジアから自分を知る～大切なことを守りつづけるために～」



分科会3
「写真で学ぼう わたしたち世界の暮らし～地球の食卓から～」



分科会4
「みんながって、みんないい～多文化共生120時間の実践軌跡～」

国際教育教材体験フェア in 滋賀 Part 4